
宇佐市学校施設長寿命化計画

令和 3 年 3 月

宇 佐 市

目 次

序章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	8
4. 計画における対象施設	9

第1章 学校施設の目指すべき姿

1. 学校施設の課題	10
(1) 安全・快適な学校施設の環境向上	10
(2) 児童・生徒の減少に伴う学校規模の適正化	10
(3) 生活空間としての施設の充実	10
(4) 地域のコミュニティ施設としての活用	11
2. 学校施設のあり方	13

第2章 学校施設の実態

1. 学校施設を取り巻く状況	14
(1) 市の概況	14
(2) 人口・世帯数の推移	15
(3) 年齢別人口の推移	16
(4) 将来人口	17
(5) 地域別人口の推移	18
(6) 財政状況	19
2. 運営状況・活用状況の把握	23
(1) 公共施設全体の保有状況	23
(2) 学校施設の保有状況	24
(3) 児童・生徒数及び学級数の変化	28
(4) 職員数の推移	35
(5) 学校施設の配置状況	37
(6) 学校の施設関連経費	40
(7) 学校施設の実態を踏まえた課題	45

3. 学校施設の老朽化状況	47
(1) 学校施設の老朽化状況の把握	47
(2) 学校施設の老朽化所見	56

第3章 学校施設整備の基本方針

1. 学校施設の規模・配置計画等の方針	57
(1) 適正配置の方策	57
(2) 統合化への展望	59
(3) 整備計画の方針	60
2. 改修等の基本的な方針	61
(1) 長寿命化の方針	61
(2) 予防保全の方針	64
(3) 目標使用年数の設定	65
(4) 改修周期の設定	66

第4章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

1. 改修等の整備水準	67
2. 維持管理の項目・手法等	72
(1) 維持管理の必要性	72
(2) 維持管理の項目	73
(3) 点検・評価結果の蓄積	75

第5章 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位	76
(1) 施設評価	76
(2) 改修等の優先順位	77
2. ライフサイクルコストの算定	78
3. 事業計画策定	82
(1) 今後10年間の事業計画	82
(2) 事業推進のための財源	84

第6章 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用	85
(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成	85
(2) データベース及び簡易マニュアルの作成	85
(3) データベースの活用	85
2. 推進体制等の整備	86
3. フォローアップ	87

序章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的

宇佐市の学校施設は、高度経済成長期を契機として昭和40年代から50年代に集中して整備され、長寿命化の検討となる築30年以上を経過する建物が全体の約5割を占めている状態です。

主要建物98棟のうち、28棟が旧耐震基準である昭和56年以前に建築されたものであったため、これらを対象に耐震診断を行い、平成27年度に耐震補強工事等を完了しました。

耐震補強を行った建物を含め、建築から長い年数が経過した建物や設備の老朽化により、今後、改築又は大規模改造に多額の費用が必要になると考えられます。

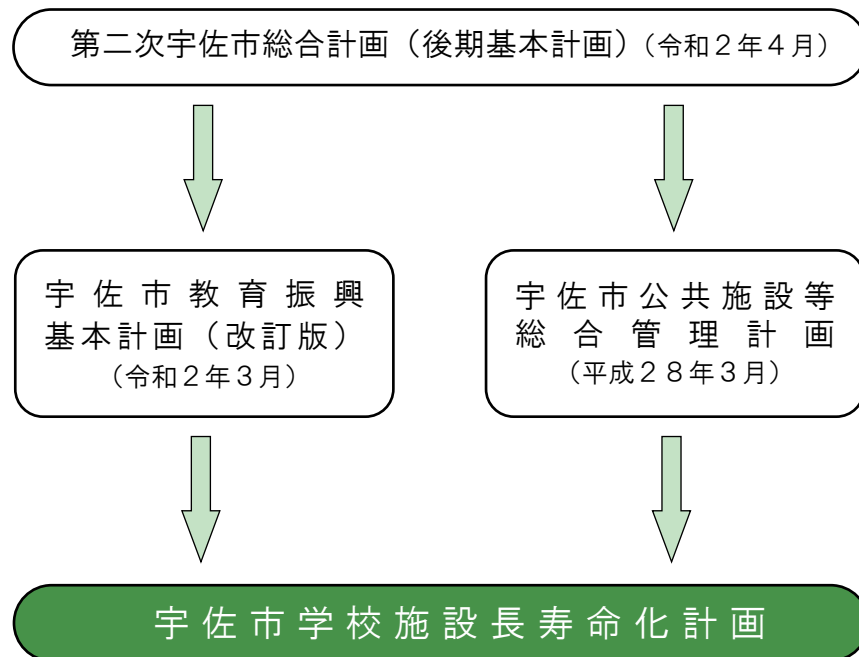
しかしながら、厳しい財政状況の中、学校施設の整備を集中的に行うことは困難であり、財政運営に大きな影響を与えることから、計画的な施設整備を行う必要があります。

全国的に同様の傾向が見られる中、文部科学省は「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を公表し、単なる更新のための改修・改築ではなく、施設を長い期間、有効利用できる長寿命化改修への転換、計画的な維持管理に向けた中長期計画の策定・実施の考え方を示しています。

宇佐市学校施設長寿命化計画（以下、「本計画」という。）は、以上の背景を踏まえ、中長期的な視点から学校施設として求められる機能や役割などを考慮しながら長寿命化改修、改築等の方向性や優先順位等を設定し、施設整備に要するライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化、児童・生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実を図ることを目的として策定するものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、以下の上位・関連計画を踏まえ、それらの内容との整合を図りながら、多様な機能や役割を充足しつつ、施設整備を計画的に行い、長寿命化を図ることを目的として策定します。ここでは、上位計画である「第二次宇佐市総合計画（後期基本計画）」、「宇佐市教育振興基本計画（改訂版）」および「宇佐市公共施設等総合管理計画」について学校施設に関する内容を整理します。



◇ 第二次宇佐市総合計画（後期基本計画）（令和２年４月）

【宇佐市のまちづくりの目標（第２部 第１章 第１節）】

「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」

学校施設に関する内容（第３部 基本計画）

第５章 個性豊かな人材と文化を**育む**まち

知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育を提供し、安心して信頼して子どもを託すことのできる環境を整えるため、教科指導・生徒指導等の教育内容の充実に努めるとともに、安全安心な学校づくりに向けた学習環境の改善や学校施設・整備の充実に努めます。（第３節 義務教育 施策の方針）

主要施策：学校施設・整備の充実

- ①学校施設長寿命化計画に基づき、校舎や体育館、プール・トイレなど老朽化した施設・設備等の改修等に努めます。
- ②児童生徒の減少により生じた空き教室等については、ワークスペースや特別教室等として有効利用に努めます。

主な取組

- ◇学校施設長寿命化対策
- ◇教室環境向上対策
- ◇学校施設長寿命化計画の策定

◇ 宇佐市教育振興基本計画（改訂版） （令和２年３月）

【 計画の特徴 】

宇佐市が目指す教育を実現していくための「３つのビジョン」と「１０の取組の方向」さらには、その取組に基づいた「３０の重点施策」を体系的に整理して策定しています。

【 宇佐市が目指すこれからの教育 】

- 宇佐らしい教育の推進
- 宇佐で学び、宇佐に誇りを持つ
 - ・ ふるさと教育の推進
 - ・ 文化の継承、戦争遺跡を活かした平和学習
 - ・ 親子で読書習慣活動の推進
 - ・ ふるさと給食の継続



図：「３つのビジョン」「１０の取組の方向」「３０の重点施策」施策体系図

学校施設に関する内容（第3章 義務教育）

重点施策3 安全・安心な学校づくり

（現状と課題）

耐震対策の継続等

児童・生徒が安心して学べる安全な学校施設を確保するため、耐震化を最優先に推進してきたところであり、平成27年4月1日時点で耐震化率は100%となっています。また、非構造部材（天井材、照明器具等）の落下防止対策も令和元年度までに完了し、児童・生徒等の安全確保の観点から、今後も落下防止等の対策に努めます。

バリアフリー化の推進

学校施設は、地域住民にとって最も身近な公共施設として、まちづくりの核、生涯学習の場として一層積極的に整備することが必要です。

既設施設においては、ユニバーサルデザインの考え方を念頭に、児童・生徒が安全かつ円滑に学校生活を不自由なく過ごせるように計画的にバリアフリー化を推進することが必要です。

（重点取組）

- ・学校生活を不自由なく過ごせるように、バリアフリー化の推進

重点施策4 学校施設・設備の充実

（現状と課題）

小学校の規模の適正化

周辺地域において児童・生徒数が減少する反面、中心部における児童・生徒数の増大に伴い、学校規模の二極化が進んでおり、小学校の規模の適正化、通学区域の見直し等の検討が必要になっています。

教育環境の質的な向上

教育設備の老朽化が進行する中、特にプール施設の不具合により水泳の授業に支障をきたしている状況があります。

教育環境の質的な向上を図るため、教育設備（プール、空調機器、トイレ等）の改修・整備に取り組むとともに、老朽化による不具合箇所の修繕にも迅速に対応することが求められています。そのため、地域の実情に応じた、充実した教育活動を十分に展開できる安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた学校施設整備を実施する必要があります。

学校施設長寿命化計画の策定

本市の小・中学校の校舎や屋内運動場など主要建物の経過年数を平均すると約30年が経過しており、施設・設備の大規模更新等の検討が必要な時期を迎えています。

全国的においても、今後、公共施設の老朽化が急速に進行されることが予測される中、各地方公共団体は「公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設毎の長寿命化計画を令和2年度までに策定する必要があるとされています。宇佐市においても、学校施設の長寿命化計画を策定し、トータルコストの削減や平準化を図り、具体的な整備計画をたてる必要があります。

（重点取組）

- ・公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会の開催
- ・老朽化に伴う学校施設、設備の改修、整備の実施（校舎、体育館、プール、空調機器、トイレ等）
- ・学校施設長寿命化計画の策定

◇ 宇佐市公共施設等総合管理計画 （平成28年3月）

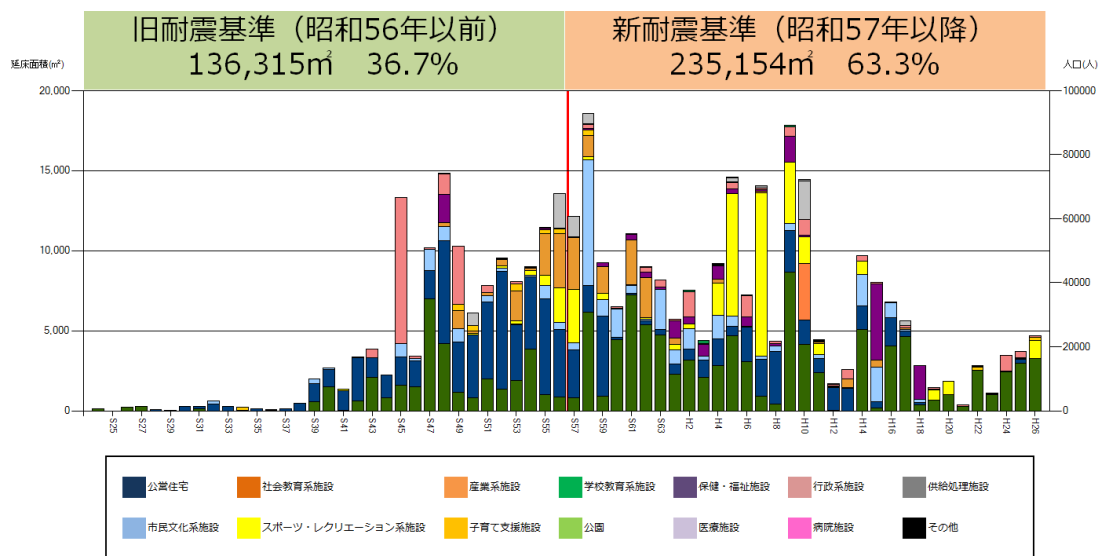
【 計画の目的（第1章 1）】

宇佐市公共施設等総合管理計画の目的は、単に公共施設等の廃止・縮小を推進するのではなく、できるだけ長持ちさせ、中長期的な観点で効果的・効率的に整備・管理運営を行うことで、市民が安全・安心で持続的に利用できるようにすることです。

宇佐市公共施設等総合管理計画は、「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を見据え、複合化・長寿命化等によって機能を充実し、効果的・効率的なサービスを提供することを目指します。

【 公共施設の現状（第2章 1）】

- 宇佐市の公共施設（ハコモノ）は約451施設
- 建物の床面積の合計は約37万㎡
- 公共施設等は、昭和40年代から昭和50年代に整備されており、旧耐震基準の施設は全体の約37%
- 学校教育系施設の床面積は公共施設全体の約31%（第5章 1）
- 小学校の築30年以上の施設数割合は30%（第5章 5）
- 中学校の築30年以上の施設数割合は33%（第5章 6）



（一般財団法人地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフト Ver. 2.10 を使用）

資料：宇佐市公共施設等総合管理計画

図 公共施設（ハコモノ）の築年別整備状況（平成26年度末）

【計画の目標（第3章 1， 2）】

1. 基本方針

「地域特性や地域バランス」に配慮した公共施設マネジメント

小・中学校の統廃合等の公共施設の統合整備については、特に住民生活との関わりが深いため、住民生活への影響に十分配慮するとともに、地域特性や地域のバランスや財政事情も考慮の上、検討を進めます。

2. 基本目標

現在、老朽化が深刻となっている施設も出始めており、今後、施設を良好な状態で使用していくためには、適切な保全工事を実施する必要があります。さらに耐震基準など時代の変化に応じて施設に求められる基準や機能が変化し、大きな改修工事も見込まれます。

また、人口減少や少子高齢化の進行など、社会状況に対応していくために、建物一つひとつの「長寿命化」を図るとともに、施設等の統廃合の検証し、施設保有量の最適化を進めていきます。

- 次世代に負担を残さず、継続可能な施設の保有
- 社会状況の変化に対応した市民サービスの提供
- 安全・安心な公共施設等の形成
- 効率的で効果的な公共施設等の運営

【学校施設の方針】

児童・生徒数が年々減少している傾向にあり、今後、空きスペース等が生じる事が見込まれます。文部科学省においても、「学校施設と他の公共施設等との複合化検討部会」を発足し、新しい学校施設の在り方が検討されているため、国の動向を踏まえて他施設との複合化を検討していきます。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、宇佐市公共施設等総合管理計画と同様に今後40年間を見据えた上で、直近の10年間（令和4年度～令和13年度）の事業計画を策定するものとします。

なお、法改正等の社会的要求水準の変化を受け、状況が変化した場合は、適宜計画の見直しを行います。

4. 計画における対象施設

本計画における対象施設は、下表に示す小学校24校、中学校7校とします。このうち主要な建物98棟を対象とします。

表：学校施設一覧

区分	施設名	所在地	校地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	対象建物※ ² (棟数)
小学校	天津小学校	宇佐市大字下敷田264番地の1	13,325	3,003	3
	長峰小学校	宇佐市大字佐野686番地の2	9,969	2,381	2
	横山小学校	宇佐市大字上元重859番地の1	7,461	1,732	3
	糸口小学校	宇佐市大字上時枝600番地の1	11,415	2,389	2
	高家小学校	宇佐市大字東高家288番地	12,720	3,157	3
	八幡小学校	宇佐市大字上乙女283番地の1	11,653	2,891	2
	四日市北小学校	宇佐市大字四日市1351番地の1	16,787	5,434	3
	柳ヶ浦小学校	宇佐市大字江須賀2406番地	20,290	4,826	3
	長洲小学校	宇佐市大字長洲630番地	26,839	4,477	3
	和間小学校	宇佐市大字松崎1514番地	23,315	3,219	2
	封戸小学校	宇佐市大字苅宇田59番地	7,917	2,594	2
	北馬城小学校	宇佐市大字岩崎781番地	13,159	3,203	2
	宇佐小学校	宇佐市大字南宇佐2007番地	17,857	2,486	3
	西馬城小学校	宇佐市大字上矢部1069番地	9,820	1,898	2
	駅館小学校	宇佐市大字上田394番地の2	15,209	4,143	5
	豊川小学校	宇佐市大字大塚542番地の2	10,628	3,358	4
	四日市南小学校	宇佐市大字四日市1726番地	25,671	4,263	3
	深見小学校	宇佐市安心院町矢畑40番地の2	16,047	2,673	2
	安心院小学校	宇佐市安心院町木裳115番地の1	12,320	3,954	4
	津房小学校	宇佐市安心院町五郎丸380番地の2	13,947	2,680	4
	佐田小学校	宇佐市安心院町佐田215番地	12,257	2,651	2
	南院内小学校	宇佐市院内町下恵良687番地	9,780	2,159	2
	院内中部小学校	宇佐市院内町山城91番地	12,261	2,584	2
	院内北部小学校	宇佐市院内町櫛野646番地	17,848	3,016	3
中学校	北部中学校	宇佐市大字下時枝369番地の1	28,239	5,610	4
	西部中学校	宇佐市大字四日市3315番地	46,512	7,497	7
	長洲中学校	宇佐市大字長洲1527番地	44,481	6,829	5
	宇佐中学校	宇佐市大字橋津434番地	26,540	4,364	4
	駅川中学校	宇佐市大字閣153番地	22,017	4,460	5
	安心院中学校	宇佐市安心院町下毛2222番地の1	17,890	4,898	3
	院内中学校	宇佐市院内町山城54番地	25,602	4,990	4

資料：令和2年度宇佐市公立学校施設台帳

※² 延床面積200㎡以上（主施設は200㎡以下でも対象）

第 1 章 学校施設の目指すべき姿

1. 学校施設の課題

宇佐市の教育行政において、人口減少や超高齢社会の到来、情報通信技術の発展、グローバル化の進展など、社会情勢が急激に変化する中、次のような多くの課題があります。

(1) 安全・快適な学校施設の環境向上

宇佐市の学校施設の耐震化は完了していますが、建築年度が古く老朽化した校舎等が残されているため、修繕等を必要とする箇所が多くなってきているのが現状です。このことを踏まえて、建物の改修を計画的に進め、児童・生徒が安全かつ快適に学ぶことができる教育環境の充実を図ることが必要です。

また、習熟度別指導や少人数指導、特別支援教育など、児童・生徒一人ひとりの教育的なニーズに応えることができる施設整備が求められています。

(2) 児童・生徒の減少に伴う学校規模の適正化

宇佐市の児童・生徒数は、人口減少・少子化の一層の進行などにより年々減少しています。学校教育においては、児童・生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め、協力し合い、切磋琢磨することで一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要とされており、一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられています。一方で、小規模校としてのメリットもあり、学校は地域コミュニティの核としての役割や機能を持つなど、地域の実情により学校の在り方は異なることがあり、「適正な学校規模」を一概に判断することは難しい点もあります。

しかし、少子化が中長期的に継続すると見込まれている現状においては、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されています。

このことから、少子化に対応した活力ある学校づくりの方策を継続的に検討・実施していくことが求められており、小規模校のデメリットを克服しつつ、児童生徒にとって望ましい学校規模について、保護者や地域と一体となって検討していくことが必要です。

(3) 生活空間としての施設の充実

児童・生徒が1日の大半の時間を過ごす学校施設は、教育の場であるのみならず、生活の場として、充実した学校生活を過ごすことができる豊かで潤いのある空間としていくことが重要です。そのためには、学習の場としての整備だけでなく、交流の場の確保など多様な空間を整備することが必要です。

さらに、安全に施設が利用できるバリアフリー化や、不審者などに対する防犯対策を進めるとともに、トイレの設備など衛生的な環境整備を図る必要があります。

(4) 地域のコミュニティ施設としての活用

小・中学校は、災害時などの避難場所に指定されているとともに、学校と地域との連携による多様な交流の場として活用されています。なお、小学校は放課後児童クラブとしても活用されています。このように、地域のコミュニティ施設としての多様な機能に対応できる施設や設備の整備が必要です。

表：宇佐市避難施設一覧（小学校）

施設名	電話番号	所在地
天津小学校、体育館	0978-32-0348	宇佐市大字下敷田264番地の1
長峰小学校、体育館	0978-32-0344	宇佐市大字佐野686番地の2
横山小学校、体育館	0978-32-0457	宇佐市大字上元重859番地の1
糸口小学校、体育館	0978-32-0274	宇佐市大字上時枝600番地の1
高家小学校、体育館	0978-32-0304	宇佐市大字東高家288番地
八幡小学校、体育館	0978-32-0279	宇佐市大字上乙女283番地の1
四日市北小学校、体育館	0978-32-0049	宇佐市大字四日市1351番地の1
柳ヶ浦小学校、体育館	0978-38-0206	宇佐市大字江須賀2406番地
長洲小学校、体育館	0978-38-1234	宇佐市大字長洲630番地
和間小学校、体育館	0978-38-0354	宇佐市大字松崎1514番地
封戸小学校、体育館	0978-37-0217	宇佐市大字苅宇田59番地
北馬城小学校、体育館	0978-37-0701	宇佐市大字岩崎781番地
宇佐小学校、体育館	0978-37-0129	宇佐市大字南宇佐2007番地
西馬城小学校、体育館	0978-32-2307	宇佐市大字上矢部1069番地
駅館小学校、体育館	0978-32-0404	宇佐市大字上田394番地の2
豊川小学校、体育館	0978-32-0098	宇佐市大字大塚542番地の2
四日市南小学校、体育館	0978-33-3403	宇佐市大字四日市1726番地
深見小学校、体育館	0978-44-4031	宇佐市安心院町矢畑40番地の2
安心院小学校、体育館	0978-44-0025	宇佐市安心院町木裳115番地の1
津房小学校、体育館	0978-48-2305	宇佐市安心院町五郎丸380番地の2
佐田小学校、体育館	0978-44-0154	宇佐市安心院町佐田215番地
南院内小学校、体育館	0978-42-5034	宇佐市院内町下恵良687番地
院内中部小学校、体育館	0978-42-5601	宇佐市院内町山城91番地
院内北部小学校、体育館	0978-42-5201	宇佐市院内町櫛野646番地

資料：宇佐市指定避難所

表：宇佐市避難施設一覧（中学校）

施設名	電話番号	所在地
北部中学校、体育館	0978-32-0326	宇佐市大字下時枝369番地の1
西部中学校、体育館・道場	0978-32-0072	宇佐市大字四日市3315番地
長洲中学校、体育館	0978-38-1126	宇佐市大字長洲1527番地
宇佐中学校、体育館	0978-37-0055	宇佐市大字橋津434番地
駅川中学校、体育館	0978-32-0175	宇佐市大字閤153番地
安心院中学校、体育館	0978-44-0004	宇佐市安心院町下毛2222番地の1
院内中学校、体育館	0978-42-5008	宇佐市院内町山城54番地

資料：宇佐市指定避難所

2. 学校施設のあり方

本計画の方針を定めるにあたり、次のような環境や空間等が整備された学校施設を目指します。

安 全 性	① 地震、台風、大雨等に強い学校施設 （非構造部材の耐震補強、照明器具等の落下防止措置） ② 防犯に対応した学校施設（防犯ブザー・防犯カメラの設置や地域との連携） ③ 安全で安心して生活できる環境（老朽化対策の推進、通学路の整備）
快 適 性	① 授業に集中でき、学習効率向上に資する快適な学習環境 （エアコンの設置、遮音・吸音性能への配慮） ② バリアフリーに配慮した環境（段差の解消、障がい者用トイレの設置 等） ③ 児童・生徒の健康や衛生面に配慮した環境 （トイレの洋式化、手洗いの自動水洗化、適正な照度の確保 等） ④ 児童・生徒の交流を促すなど、生活の場として快適に過ごすことができる環境（多目的室、ミーティング室などの環境整備 等） ⑤ 教職員が快適に働ける環境（職員室の環境整備） ⑥ 省エネに配慮した施設の整備（自然光の利用、特別教室の効率的な利用）
学 習 活 動 への適応性	① 個別指導や習熟度別指導など多様な学習形態を展開するための環境 （少人数教室、多目的室の環境整備 等） ② 児童・生徒の自発的な学習や読書活動を促すための環境 （特別教室、図書室などの整備） ③ 社会性を身につけるための空間（多学年間の学習環境、遊具施設の整備） ④ 特別支援教育に配慮した学校施設（特別支援教室の環境整備） ⑤ 進路指導や相談等、児童・生徒の支援・指導に取り組みやすい空間 （キャリア教育の推進、進路指導室や相談室の整備） ⑥ 充実した運動ができる環境（屋内運動場、校庭の整備）
環 境 へ の 適 応 性	① 環境を考慮した学校施設 （太陽光発電、省エネ・省資源、自然共生、木材利用）
地 域 の 拠 点 化	① 地域住民が健康づくりや学習拠点等に活用できる開かれた環境 （屋内運動場、校庭、特別教室などの開放） ② 空き教室などの活用（児童クラブなど、放課後の児童の居場所がある施設） ③ 避難所としての機能を有する施設

第 2 章 学校施設の実態

1. 学校施設を取り巻く状況

(1) 市の概況

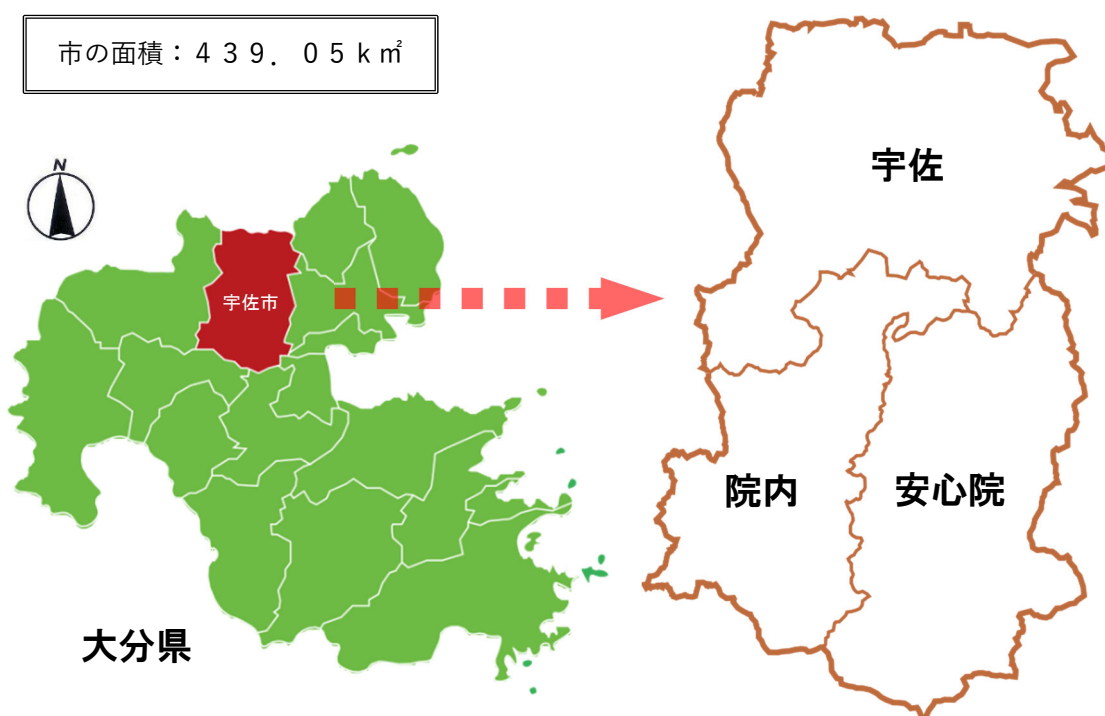
宇佐市は、大分県の北部に位置し、瀬戸内海に突き出た国東半島の西側に接しています。

北は広大な宇佐平野の向こうに周防灘が開け、南は“九州の屋根”九重山系に通じる標高 1,000m 級の森林地域で形成されています。一方、中部は標高 500～600m 級の山々から標高 90～120m の盆地が続いています。

河川も豊かで、県中部の鶴見岳や由布岳、日出生台などに水源を発する多くの支流が合流して駅館川となり、寄藻川、伊呂波川などと平行して宇佐平野を流れ、周防灘に注いでいます。

このように、長い海岸線と穏やかな海、広大な平野、緑濃い森林、豊かな水をたたえた河川など、変化と多様性に富んだ自然美が堪能できる地形のまちです。

宇佐市は、平成 17 年 3 月 31 日に宇佐市・安心院町・院内町の 1 市 2 町の合併により誕生しました。



図：宇佐市の位置

(2) 人口・世帯数の推移

宇佐市の人口は減少傾向にあり、平成22年の国勢調査時点で59,008人と6万人を割り込み、平成27年の国勢調査時点までの20年間で7,561人減少しています。

世帯数は、平成17年までは増加傾向であったものの、以降減少傾向です。平成27年の国勢調査時点では22,524世帯で、20年間で726世帯増加しています。

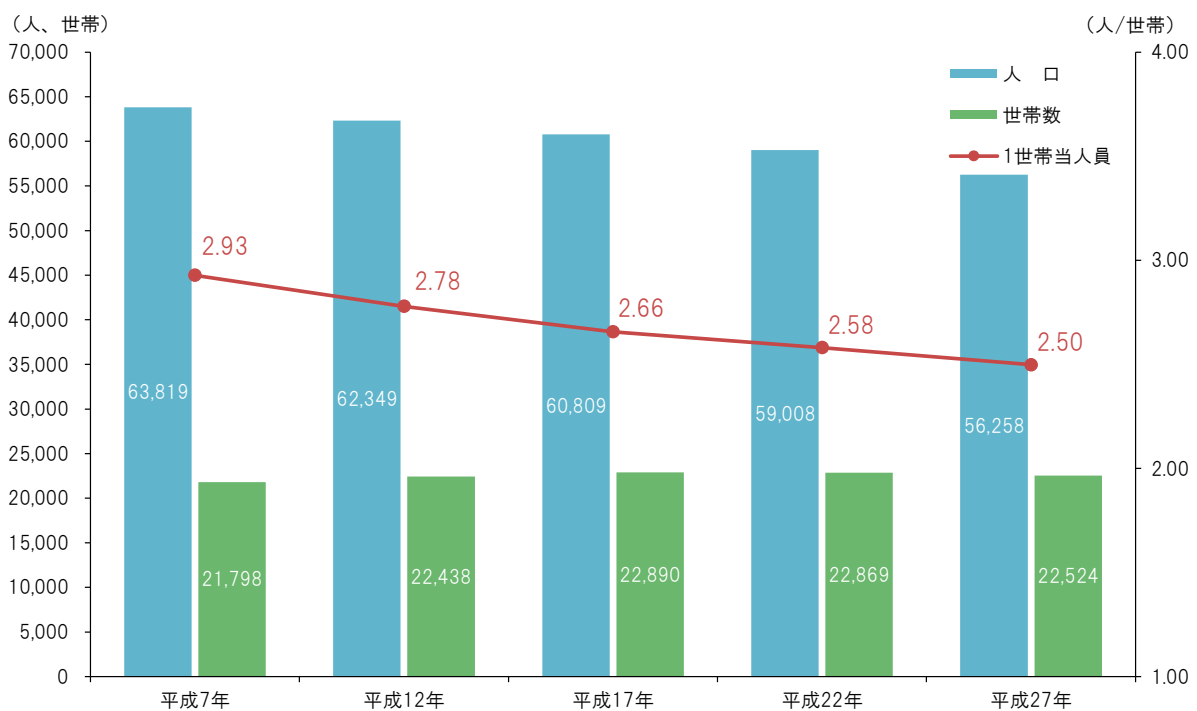
世帯当たり人員は、年々少なくなっており、平成27年の国勢調査時点で1世帯当たり2.50人となっています。

表：人口・世帯数の推移

単位：世帯、人

年 度	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人 口	63,819	62,349	60,809	59,008	56,258
世 帯 数	21,798	22,438	22,890	22,869	22,524
1世帯当人員	2.93	2.78	2.66	2.58	2.50

資料：国勢調査



資料：国勢調査

図：人口・世帯数の推移

(3) 年齢別人口の推移

年齢4区分別人口の推移をみると、15歳未満人口は平成7年の10,237人から平成27年には6,823人へと減少し、人口に占める比率も約1割程度となっています。一方、65歳以上人口は、平成7年の14,970人から平成27年には19,151人へと増加しており、人口の3分の1となっています。

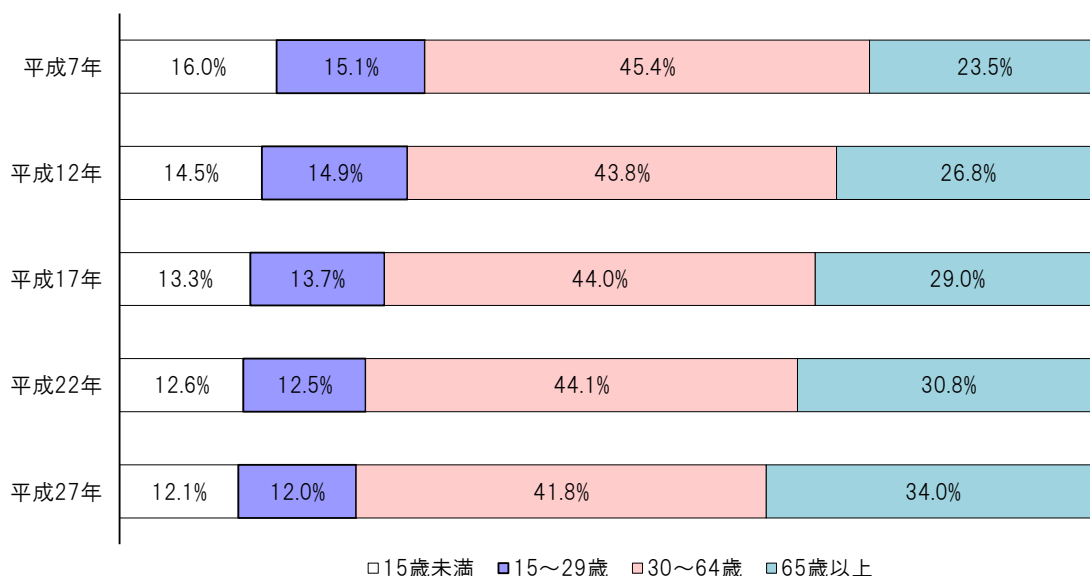
年齢別人口割合の推移をみると、65歳以上人口の割合は年々増加し、急速に少子高齢化が進行しています。

表：年齢別人口の推移

単位：人

年齢別	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
15歳未満	10,237	9,053	8,094	7,464	6,823
15～29歳	9,658	9,278	8,293	7,351	6,772
30～64歳	28,954	27,279	26,655	26,014	23,562
65歳以上	14,970	16,739	17,591	18,179	19,151

資料：第二次宇佐市総合計画



資料：第二次宇佐市総合計画

図：年齢別人口割合の推移

※年齢別人口に「不詳」の人数を含む。

※小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100とはならない。

(4) 将来人口

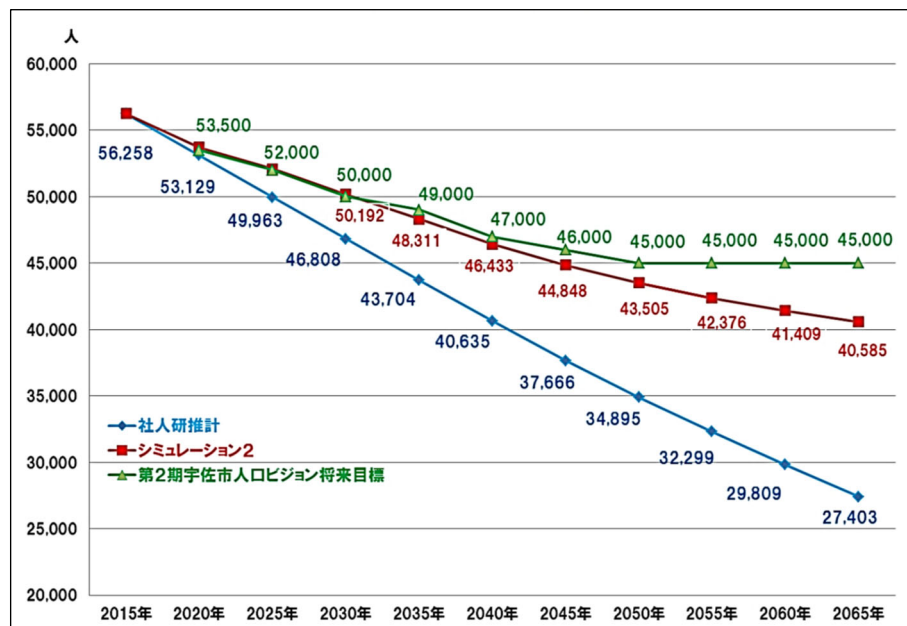
宇佐市の将来の目標人口について、令和2年3月に策定された「宇佐市人口ビジョン（改訂版）（Ⅳ 2）」では、以下のようになっています。

2030年までは50,000人を維持、その後は人口減少を緩和しつつ2050年以降は45,000人規模の維持を目標とする。

自然増の取組：大分県人口ビジョンの考え方を準用し、さらに現在の数値を勘案し、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現に向け、「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指して施策を展開していきます。

合計特殊出生率仮定値 2030年に2.1程度
 2040年に2.4程度

社会増の取組：さらなる若年層対策や女性や高齢者施策の推進に努めるとともに、産業の振興などに積極的に取組むことで、2020年までに社会増減の均衡を目指すとともに、2030年からは大分県の社会増対策やこれからは急増する外国人住民を想定し、社人研推計に75人／年の上乗せを図ります。



資料：宇佐市人口ビジョン

図：第2期宇佐市人口ビジョンの将来推計

※ 社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口

※ シミュレーション2：合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準程度以上まで上昇すると仮定した場合のシミュレーションに加え、直ちに移動が均衡になることを仮定した場合のシミュレーション

※ 第2期宇佐市人口ビジョン将来目標：シミュレーション2に市独自施策や大分県社会増による数値を足した時のシミュレーション

(5) 地域別人口の推移

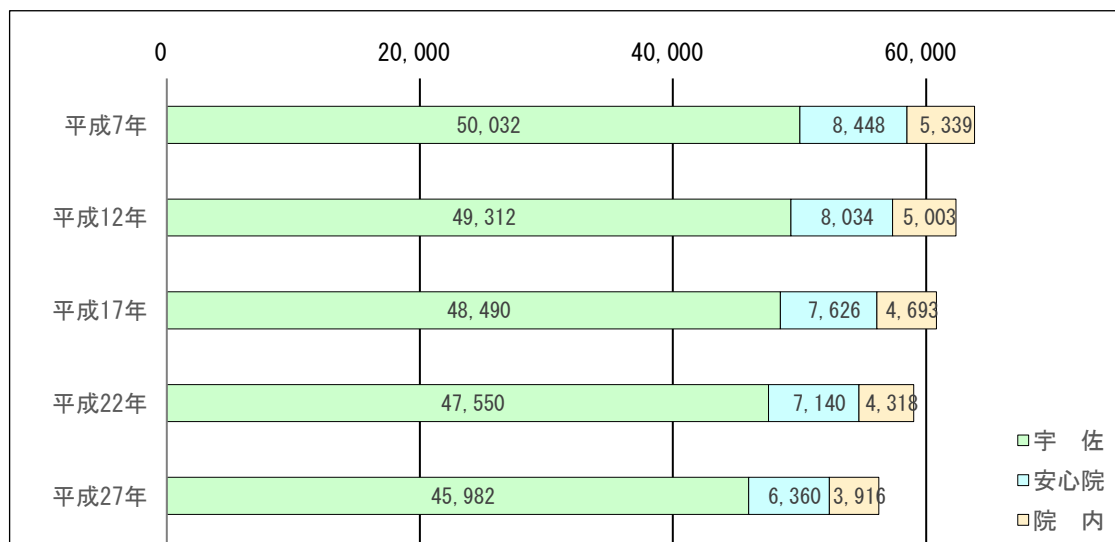
宇佐市の地域別で平成7年から平成27年までの人口の推移をみると、いずれの地域でも減少しています。減少率は安心院地域、院内地域が2割を超えており、最も大きいのは院内地域の26.7%となっています。

表：地域別人口の推移

単位：人

地域名	平成7年 (a)	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年 (b)	差異 下段：減少率(b/a)
宇 佐	50,032	49,312	48,490	47,550	45,982	▲ 4,050
	78.4	79.1	79.7	80.6	81.7	-8.1%
安 心 院	8,448	8,034	7,626	7,140	6,360	▲ 2,088
	13.2	12.9	12.5	12.1	11.3	-24.7%
院 内	5,339	5,003	4,693	4,318	3,916	▲ 1,423
	8.4	8.0	7.7	7.3	7.0	-26.7%
合 計	63,819	62,349	60,809	59,008	56,258	▲ 7,561
	100	100	100	100	100	-11.8%

資料：国勢調査



資料：国勢調査

図：地域別の人口の推移

(6) 財政状況

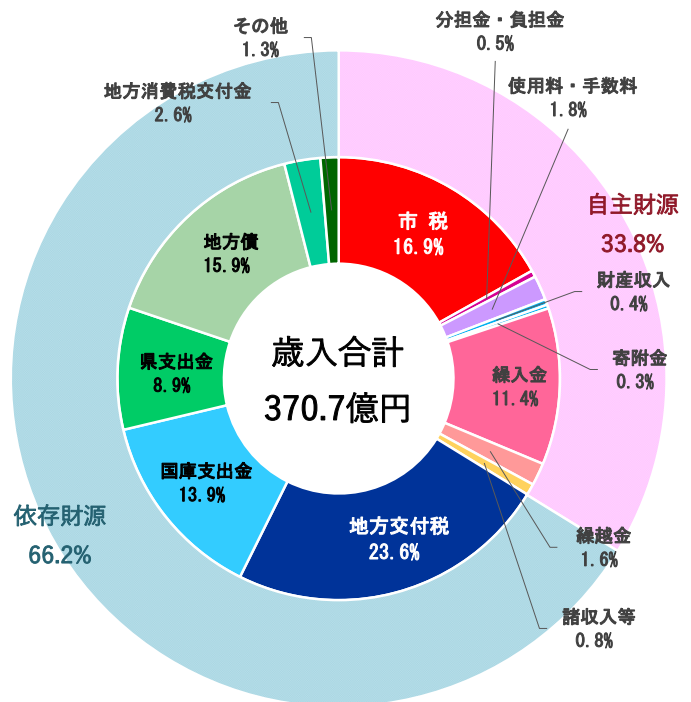
① 歳入（一般会計）の内訳

宇佐市の令和元年度決算の歳入額は約 370.7 億円であり、自主財源と依存財源の比率はおよそ 3 : 7 の割合となっています。

その内訳をみると、最も多額となる項目は、自主財源では「市税（地方税）」が 16.9%、依存財源では「地方交付税」が 23.6%となっています。

令和元年度歳入（一般会計）

区 分		決算額
自主財源	市 税	6,268,076
	分担金・負担金	176,010
	使用料・手数料	659,964
	財産収入	155,560
	寄附金	102,658
	繰入金	4,234,989
	繰越金	611,072
	諸収入	302,955
	その他	1.3%
依存財源	国庫支出金	5,160,134
	国有提供交付金	-
	県支出金	3,301,588
	地方債	5,878,171
	地方交付税	8,749,275
	地方譲与税	314,839
	利子割交付金	4,957
	配当割交付金	16,228
	株式等譲渡所得割交付金	9,517
	地方消費税交付金	975,198
	ゴルフ場利用税交付金	163
	自動車取得税交付金	44,024
	地方特例交付金	92,938
	交通安全対策特別交付金	7,201
合 計		37,065,517



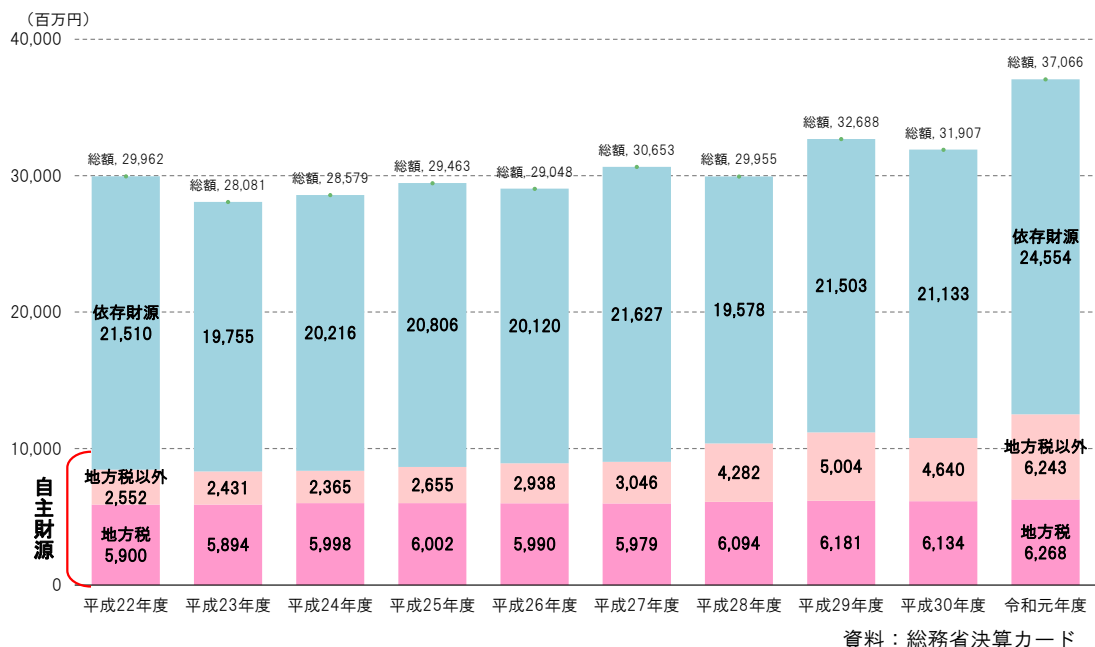
資料：総務省決算カード

表及び図：令和元年度 歳入の内訳

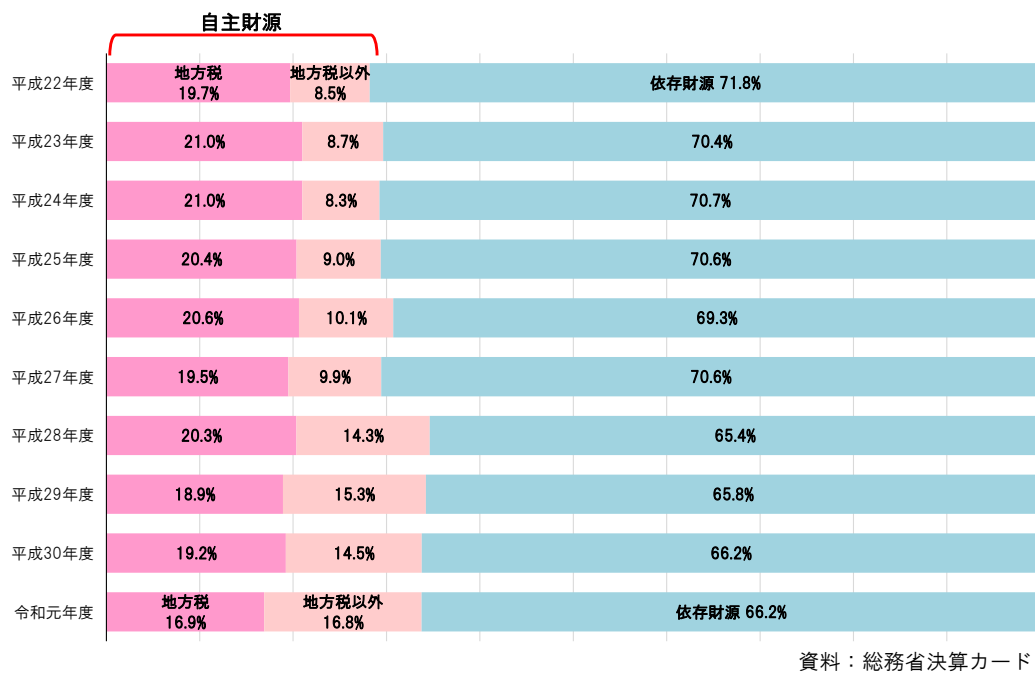
※小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100とはならない。

また、平成22年度以降の歳入の推移をみると、「市税（地方税）」は60億円前後を保っています。

今後は人口減少が続き、特に生産年齢人口の割合が減少すると見込まれるため、「市税（地方税）」の減少が予想されます。



図：歳入（一般会計）の推移



図：歳入（一般会計）の割合

※小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100とはならない。

② 歳出（一般会計）の内訳

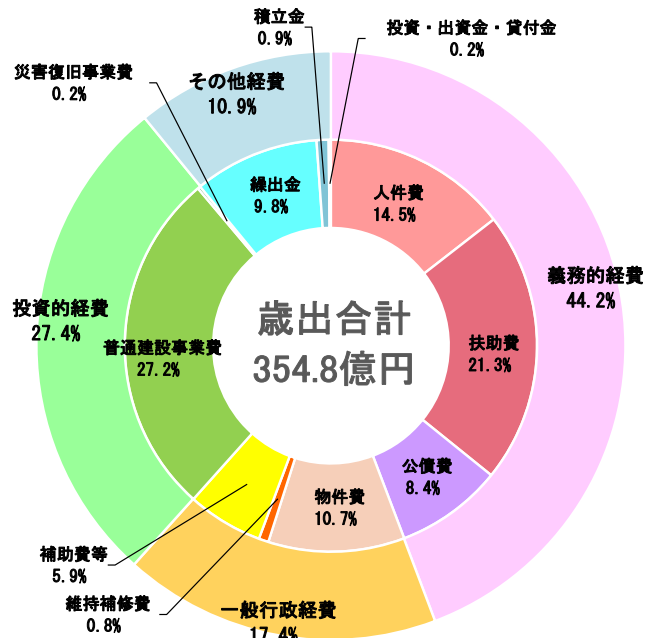
宇佐市の令和元年度決算の歳出額は約354.8億円であり、義務的経費が44.2%、一般行政経費が17.4%、投資的経費が27.4%、その他経費が10.9%となっています。

最も多額となる義務的経費の内訳をみると、今後、高齢化社会への対応から増加が見込まれる扶助費は21.3%となっています。また、投資的経費のほとんどを占める普通建設事業費は27.2%となっています。

令和元年度歳出（一般会計）

単位：千円

区 分		決算額
義務的経費	人件費	5,145,628
	扶助費	7,564,818
	公債費	2,976,746
一般行政経費	物件費	3,794,556
	維持補修費	273,984
	補助費等	2,109,777
投資的経費	普通建設事業費	9,650,723
	災害復旧事業費	80,456
その他経費	繰出金	3,491,194
	積立金	329,672
	投資・出資金・貸付金	64,000
合 計		35,481,554

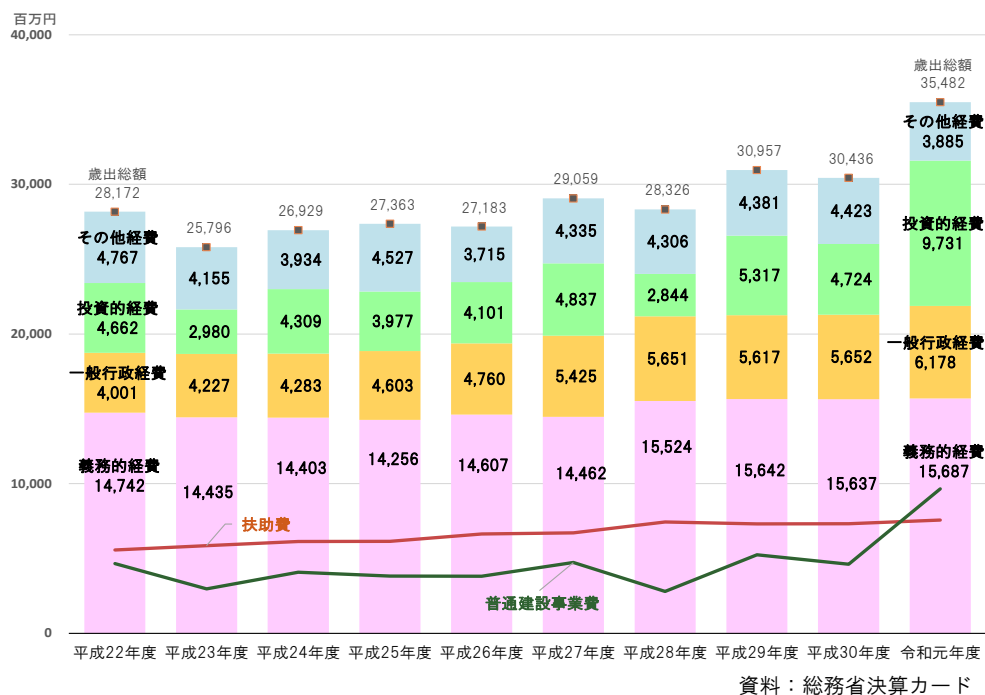


資料：総務省決算カード

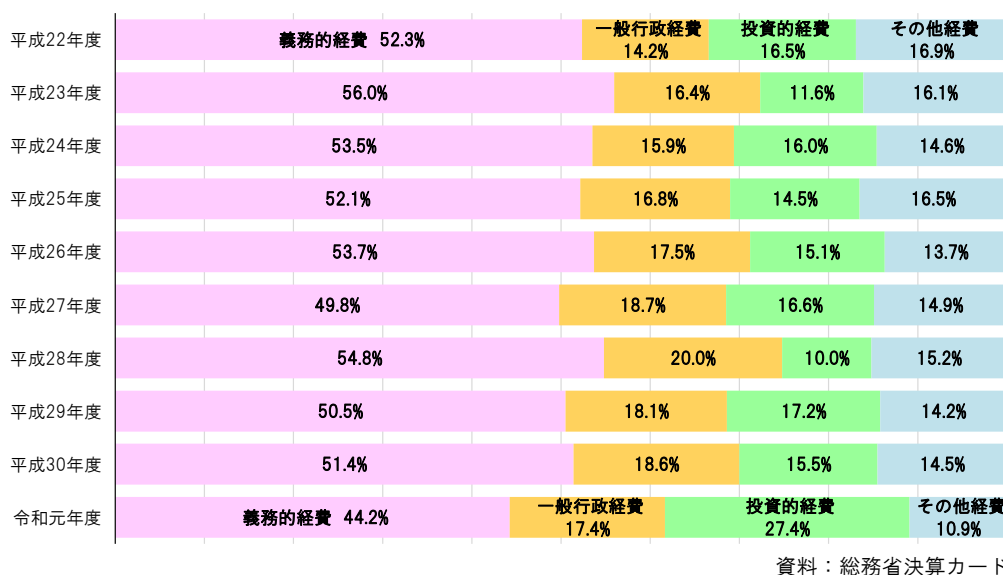
表及び図：令和元年度 歳出の内訳

さらに、平成22年度以降の歳出をみると、総額では260億円から350億円で推移しており、高齢化に伴い「扶助費（義務的経費）」が増加傾向を示しています。

「普通建設事業費（投資的経費）」は年度によりばらつきが大きくなっています。今後も人口減少や更なる高齢化の進展に伴い、後期高齢者医療費や介護保険等の負担が増大していくことが考えられます。



図：歳出（一般会計）の推移



図：歳出（一般会計）の割合

※小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100とはならない。

2. 運営状況・活用状況の把握

(1) 公共施設全体の保有状況

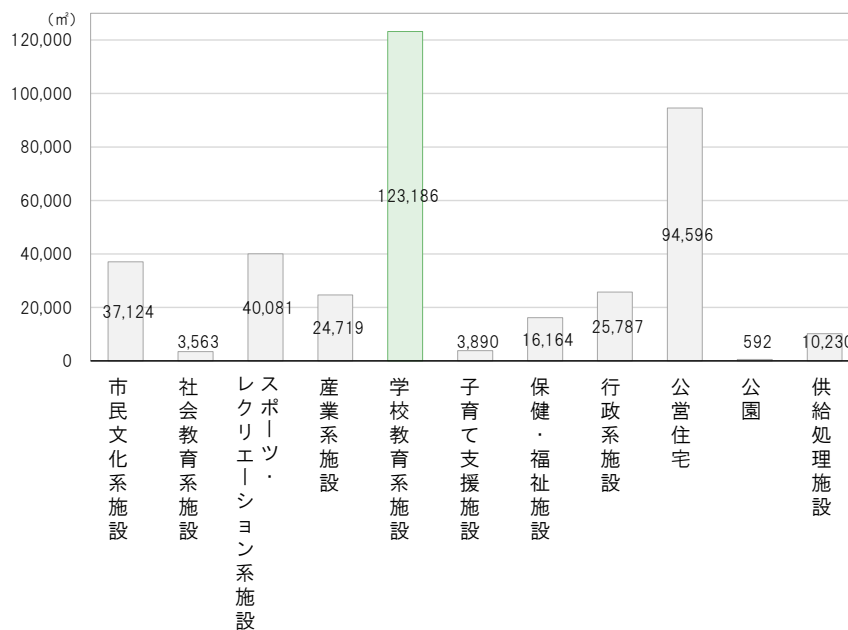
宇佐市公共施設等総合管理計画では、宇佐市が所有する公共施設は全体で451施設、延床面積379,932㎡となります。

公共施設の用途別延床面積が多い順でみると、学校教育系施設、公営住宅、スポーツ・レクリエーション系施設となっており、学校教育系施設の延床面積は123,186㎡となり、全体の約3割を占めています。

表：公共施設の用途別延床面積

施設分類	施設数	延床面積	
		面積(㎡)	構成比
市民文化系施設	72	37,124	9.8%
社会教育系施設	1	3,563	0.9%
スポーツ・レクリエーション系施設	35	40,081	10.5%
産業系施設	62	24,719	6.5%
学校教育系施設	42	123,186	32.4%
子育て支援施設	14	3,890	1.0%
保健・福祉施設	34	16,164	4.3%
行政系施設	76	25,787	6.8%
公営住宅	86	94,596	24.9%
公園	15	592	0.2%
供給処理施設	14	10,230	2.7%
合計	451	379,932	100.0%

資料：宇佐市公共施設等総合管理計画



資料：宇佐市公共施設等総合管理計画

図：用途別施設床面積

(2) 学校施設の保有状況

宇佐市の小学校24校、中学校7校の全31施設の建物のうち、延床面積200㎡未満の部室、倉庫、トイレ等の小規模な建物を除いた主要な建物の一覧を下表に示します。

小・中学校の校舎建物の多くは鉄筋コンクリート造（RC造）であり、耐震診断を行った建物のうち、耐震性能が基準値以下の建物は全て耐震補強が完了しています。

表：対象施設一覧（小学校）

学 校 名	設置年度	建 物 名 称	棟番号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 面 積	校 地 面 積	標準学級		
											学級数		
											普通	特別支援	
宇 佐 市	天津 小学校	管理教室棟	013	RC	2	1988	32	新	791	13,325	7	6	1
		教室棟	014	RC	3	1988	32	新	1,372				
		屋内運動場	016	RC	2	2014	6	新	840				
		小計				-			3,003				
	長峰 小学校	屋内運動場	009	RC	1	1980	40	旧	544	9,969	6	5	1
		管理教室棟	012	RC	2	1991	29	新	1,837				
		小計				-			2,381				
	横山 小学校	管理教室棟	001-1	RC	3	1964	56	旧	551	7,461	3	3	0
		管理教室棟	001-2	RC	3	1965	55	旧	543				
		屋内運動場	007	RC	2	1981	39	新	638				
		小計				-			1,732				
	糸口 小学校	屋内運動場	010	RC	1	1979	41	旧	544	11,415	7	6	1
		管理教室棟	012	RC	3	1989	31	新	1,845				
		小計				-			2,389				
	高家 小学校	屋内運動場	011	RC	2	1982	38	新	680	12,720	8	6	2
		普通・特別教室棟	012	RC	2	1992	28	新	1,198				
		管理教室棟	015	RC	2	2015	5	新	1,279				
		小計				-			3,157				
	八幡 小学校	屋内運動場	006	S	1	1974	46	旧	480	11,653	7	6	1
		管理教室棟	011	RC	3	2014	6	新	2,411				
		小計				-			2,891				
	四日市北 小学校	屋内運動場	010	RC	2	1978	42	旧	1,106	16,787	15	12	3
		教室棟	013	RC	3	1993	27	新	2,339				
		管理・特別教室棟	016	RC	2	2015	5	新	1,989				
		小計				-			5,434				
	柳ヶ浦 小学校	管理棟	008	RC	3	1985	35	新	1,540	20,290	9	6	3
		屋内運動場	010	RC	2	1993	27	新	922				
		教室棟	012	RC	3	2010	10	新	2,364				
		小計				-			4,826				
	長洲 小学校	教室棟	012	RC	3	1990	30	新	3,057	26,839	9	6	3
		管理棟	015	RC	1	2013	7	新	564				
		屋内運動場	016	RC	2	2015	5	新	856				
		小計				-			4,477				
	和間 小学校	管理教室棟	012	RC	3	2013	7	新	2,392	23,315	7	6	1
		屋内運動場	013	RC	2	2015	5	新	827				
		小計				-			3,219				
	封戸 小学校	屋内運動場	010	RC	2	1986	34	新	795	7,917	3	3	0
		管理教室棟	011	RC	3	1987	33	新	1,799				
		小計				-			2,594				
	北馬城 小学校	管理教室棟	011	RC	3	2012	8	新	2,377	13,159	6	5	1
		屋内運動場	012	RC	2	2015	5	新	826				
		小計				-			3,203				
	宇佐 小学校	管理教室棟	010	RC	3	1973	47	旧	1,250	17,857	8	6	2
		普通教室棟	011	RC	2	1973	47	旧	675				
		屋内運動場	014	RC	1	1977	43	旧	561				
		小計				-			2,486				

※経過年数、標準学級は令和2年（2020）時点

資料：令和2年度宇佐市公立学校施設台帳

※200㎡以下の建物は除く。

※分校は除く（休校中ため）。

表：対象施設一覧（小学校）

単位：年，㎡，クラス															
学 校 名		設置年度	建 物 名 称	棟番号	構 造	階 数	建 年	築 年	経 過 年 数	耐震基準	校舎等 面 積	校 地 面 積	標準学級		
													学級数	普通	特別支援
宇 佐 市	西馬城 小学校	明治26年 (1893)	管理教室棟	001-1	RC	2	1971	49	旧	1,102	9,820	3	3	0	
			屋内運動場	005	RC	2	1987	33	新	796					
			小計			-			1,898						
	駅館 小学校	明治3年 (1870)	屋内運動場	007	S	1	1972	48	旧	480	15,209	14	13	1	
			特別教室棟	008-1	RC	2	1975	45	旧	765					
			特別教室棟	008-2	RC	2	1980	40	旧	171					
			管理教室棟	011	RC	3	1998	22	新	2,479					
			教室棟	016	RC	3	2011	9	新	248					
			小計			-			4,143						
	豊川 小学校	明治34年 (1901)	管理教室・特別教室棟	009	RC	3	1983	37	新	2,060	10,628	12	11	1	
			屋内運動場	010	RC	1	1985	35	新	797					
			教室棟	014	S	1	2009	11	新	279					
			仮設校舎	017	RC	1	2019	1	新	222					
			小計			-			3,358						
	四日市南 小学校	昭和60年 (1985)	屋内運動場	001	RC	1	1984	36	新	725	25,671	11	10	1	
			管理棟	002	RC	2	1985	35	新	932					
			教室棟	003	RC	3	1985	35	新	2,606					
			小計			-			4,263						
安 心 院	深見 小学校	昭和32年 (1957)	屋内運動場	010	S	1	1977	43	旧	533	16,047	4	4	0	
			管理教室棟	011	S	2	1988	32	新	2,140					
			小計			-			2,673						
	安心院 小学校	明治14年 (1881)	管理教室棟	008-1	RC	3	1997	23	新	2,708	12,320	8	6	2	
			管理教室棟	008-2	RC	3	1997	23	新	83					
			給食室、学校食堂	009	S	1	1997	23	新	265					
			屋内運動場	011	S	1	1998	22	新	898					
			小計			-			3,954						
	津房 小学校	明治5年 (1872)	屋内運動場	013	S	1	1978	42	旧	630	13,947	3	3	0	
			管理教室棟	014-1	RC	2	1986	34	新	1,650					
			コンピューター室	014-2	S	1	1993	27	新	70					
			普通教室棟	017	RC	1	2006	14	新	330					
			小計			-			2,680						
	佐田 小学校	明治16年 (1883)	屋内運動場	010	S	1	1979	41	旧	533	12,257	3	3	0	
			管理・教室棟	011	RC	2	1987	33	新	2,118					
小計			-			2,651									
院 内	南院内 小学校	昭和49年 (1974)	管理・特別教室棟	001	RC	3	1973	47	旧	1,655	9,780	3	3	0	
			屋内運動場	003	S	1	1974	46	旧	504					
			小計			-			2,159						
	院内中部 小学校	昭和55年 (1980)	管理棟及び教室棟	001	RC	3	1979	41	旧	1,955	12,261	5	5	0	
			屋内運動場	003	RC	1	1979	41	旧	629					
			小計			-			2,584						
	院内北部 小学校	昭和62年 (1987)	管理棟及び校舎棟	001	RC	3	1986	34	新	2,099	17,848	7	5	2	
			屋内運動場	003	S	1	1986	34	新	797					
			学校支援センター	004	S	1	1986	34	新	120					
小計			-			3,016									
合計						75,171	—	168	142	26					

※経過年数、標準学級は令和2年（2020）時点

資料：令和2年度宇佐市公立学校施設台帳

※200㎡以下の建物は除く。

※分校は除く（休校中ため）。

表：対象施設一覧（中学校）

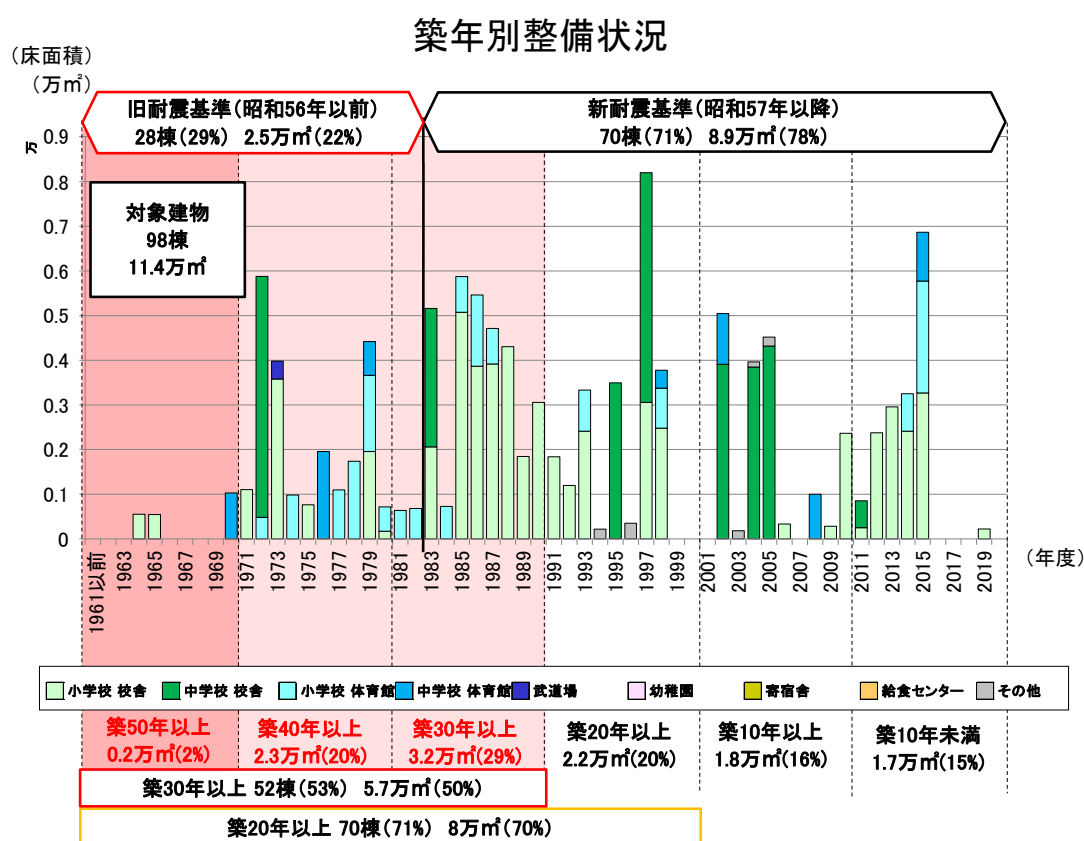
単位：年，㎡，クラス															
学 校 名		開 校 年 度	建 物 名 称	棟 番 号	構 造	階 数	建 年	築 年	経 過 年 数	耐 震 基 準	校 舎 等 積	校 地 面 積	標準学級		
													学級数	普通	特別支援
宇 佐 市	北部 中学校	昭和44年 (1969)	特別教室棟	011-1	RC	3	2005	15	新		872	28,239	8	6	2
			管理教室棟	011-2	RC	3	2005	15	新	3,447					
			体育部室	012	RC	1	2005	15	新	199					
			屋内運動場	013	RC	2	2015	5	新	1,092					
			小計							5,610					
	西部 中学校	昭和45年 (1970)	普通教室棟	001	RC	3	1972	48	旧		2,909	46,512	12	9	3
			管理棟	002	RC	3	1972	48	旧	2,227					
			渡り廊下	003	RC	2	1972	48	旧	260					
			柔剣道場	006	S	1	1973	47	旧	400					
			屋内運動場	007	S	2	1976	44	旧	955					
			教室棟	016	RC	2	1995	25	新	346					
			トレーニングセンター	017	RC	1	1998	22	新	400					
			小計							7,497					
	長洲 中学校	昭和33年 (1958)	部室棟	012	RC	1	1996	24	新		350	44,481	9	7	2
			管理教室棟	013	RC	3	1997	23	新	3,165					
			特別教室棟	014	RC	3	1997	23	新	1,982					
			屋内運動場	016	RC	1	2002	18	新	1,138					
			地域・学校連携施設	017	RC	1	2002	18	新	194					
			小計							6,829					
	宇佐 中学校	昭和34年 (1959)	部室棟	011	RC	1	1994	26	新		216	26,540	5	4	1
			教室棟	013	RC	3	1995	25	新	2,653					
			管理棟	014	RC	1	1995	25	新	495					
			屋内運動場	015	RC	2	2008	12	新	1,000					
			小計							4,364					
	駅川 中学校	昭和28年 (1953)	屋内運動場	014	RC	1	1979	41	旧		755	22,017	10	9	1
			管理棟	015	RC	1	1983	37	新	499					
			特別教室棟	016	RC	2	1983	37	新	864					
			普通教室棟	017	RC	3	1983	37	新	1,737					
			普通教室棟	022	RC	2	2011	9	新	605					
			小計							4,460					
安心院	安心院 中学校	昭和22年 (1947)	屋内運動場	008	S	1	1976	44	旧		1,000	17,890	3	3	0
			管理教室棟	010	RC	3	2002	18	新	3,715					
			部室	011	S	1	2003	17	新	183					
			小計							4,898					
院内	院内 中学校	昭和45年 (1970)	屋内運動場	003	S	2	1970	50	旧		1,027	25,602	6	3	3
			管理教室・特別教室棟	007	RC	2	2004	16	新	3,850					
			倉庫	008-1	RC	1	2004	16	新	38					
			部室	008-2	RC	1	2004	16	新	75					
			小計							4,990					
合計											38,648	—	53	41	12

※経過年数、標準学級は令和2年（2020）時点
 ※200㎡以下の建物は除く。
 ※分校は除く（休校中ため）。

資料：令和2年度宇佐市公立学校施設台帳

学校施設の築年別整備状況をみると、旧耐震基準（昭和56年以前）によるものが28棟（29%）、床面積25,000㎡（22%）、新耐震基準（昭和57年以降）によるものが70棟（71%）、床面積89,000㎡（78%）となっており、旧耐震基準の建物が約3割を占めています。

経過年数では、築50年以上が2,000㎡（2%）、築40～49年までが23,000㎡（20%）、築30～39年までが32,000㎡（29%）となっており、築30年以上を合わせると52棟（53%）、床面積57,000㎡（50%）となっています。



図：学校施設の築年別建物状況

※作図のプログラムにより、面積は万㎡、比率が整数になっています。

(3) 児童・生徒数及び学級数の変化

① 小学校の児童数及び学級数の推移

平成23年度以降、市内の小学校24校の全児童数は、平成30年度に若干増加したものの減少傾向にあり、令和2年度は2,696人となっています。平成23年度と比較すると13.1%減少しています。児童数の変化の傾向は学校ごとに異なり、過去10年間で駅館小学校、豊川小学校、院内北部小学校は増加しており、横山小学校、封戸小学校、南院内小学校は5割以上減少しています。

また、学級数は学校毎で増減がみられますが、過半数が減少傾向にあります。

表：児童数・学級数の推移（特別支援学級を含む）

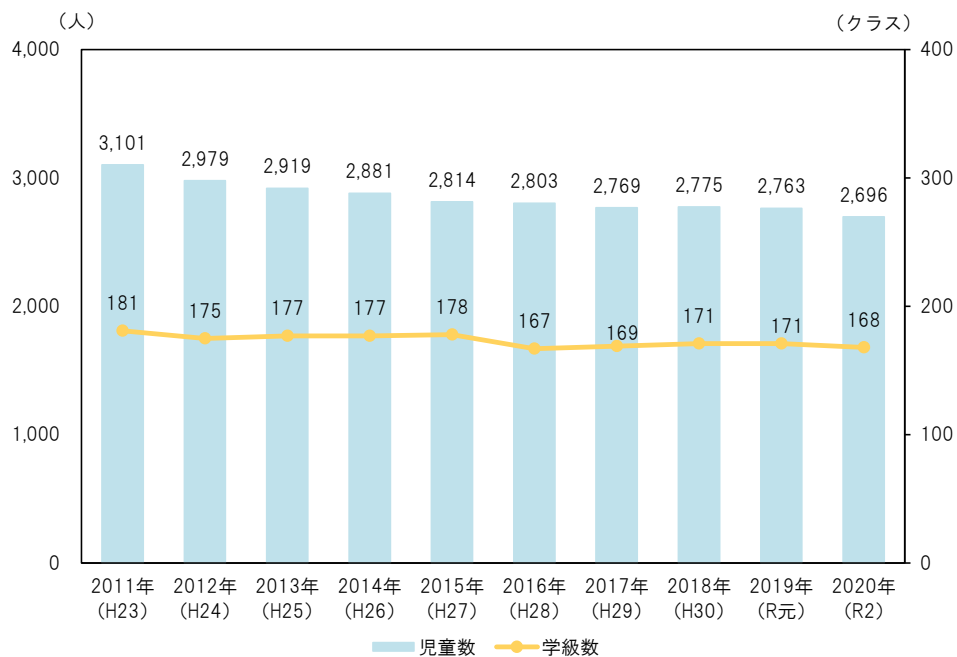
小学校			2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	単位：人、クラス H23との差異 上段：児童数の増減率 下段：学級数増減
宇 佐	天津小学校	児童数	89	81	79	75	77	76	77	80	75	79	88.8%
		学級数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	1
	長峰小学校	児童数	68	53	53	46	50	57	48	56	56	57	83.8%
		学級数	6	6	6	6	6	5	5	6	5	6	0
	横山小学校	児童数	44	34	31	33	34	33	30	33	25	20	45.5%
		学級数	5	3	4	4	4	4	3	4	4	3	-2
	糸口小学校	児童数	90	78	84	88	86	83	74	79	74	73	81.1%
		学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0
	高家小学校	児童数	101	97	111	104	101	94	94	94	90	82	81.2%
		学級数	6	7	7	7	8	8	8	8	8	8	2
	八幡小学校	児童数	117	121	110	111	100	98	111	105	111	110	94.0%
		学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0
	四日市北小学校	児童数	363	355	343	330	315	317	315	317	316	308	84.8%
		学級数	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	1
	柳ヶ浦小学校	児童数	259	258	231	233	226	218	213	215	220	201	77.6%
		学級数	13	13	11	12	11	9	9	10	9	9	-4
	長洲小学校	児童数	223	202	208	203	192	195	189	187	186	180	80.7%
		学級数	11	8	10	10	10	10	9	9	9	9	-2
	和間小学校	児童数	95	78	75	79	73	79	83	81	84	87	91.6%
		学級数	6	6	6	7	7	6	6	6	7	7	1
	封戸小学校	児童数	38	34	36	36	31	29	27	22	17	9	23.7%
		学級数	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	-1
	北馬城小学校	児童数	82	73	80	81	72	75	71	70	65	62	75.6%
		学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	-1
	宇佐小学校	児童数	136	132	124	123	124	121	104	106	103	98	72.1%
		学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	0
	西馬城小学校	児童数	35	33	25	23	26	25	23	22	27	21	60.0%
		学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-1
	駅館小学校	児童数	364	363	365	347	364	357	378	375	372	408	112.1%
		学級数	13	13	13	12	13	13	14	12	12	14	1
	豊川小学校	児童数	253	266	274	285	286	294	300	311	316	323	127.7%
		学級数	11	11	11	12	12	12	13	13	13	12	1
	四日市南小学校	児童数	292	288	271	267	245	253	247	252	264	256	87.7%
		学級数	12	13	12	11	11	9	11	11	12	11	-1

表：児童数・学級数の推移（特別支援学級を含む）

小学校			2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	単位：人、クラス H23との差異 上段：児童数の増減率 下段：学級数増減
安心院	深見小学校	児童数	61	59	42	37	36	34	26	27	34	32	52.5%
		学級数	5	5	4	3	4	4	4	4	4	4	-1
	安心院小学校	児童数	146	139	140	139	140	142	134	121	117	107	73.3%
		学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	1
	津房小学校	児童数	40	30	28	23	18	22	22	28	26	27	67.5%
		学級数	5	4	5	5	4	3	3	4	4	3	-2
	佐田小学校	児童数	42	40	40	42	37	35	31	31	33	26	61.9%
		学級数	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	-2
院内	南院内小学校	児童数	24	28	26	27	27	27	25	20	14	9	37.5%
		学級数	4	4	5	5	5	3	3	3	3	3	-1
	院内中部小学校	児童数	81	72	65	62	65	49	53	52	54	51	63.0%
		学級数	7	7	7	6	6	5	5	5	6	5	-2
	院内北部小学校	児童数	58	65	78	87	89	90	94	91	84	70	120.7%
		学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	-1
小学校 合計		児童数	3,101	2,979	2,919	2,881	2,814	2,803	2,769	2,775	2,763	2,696	86.9%
		学級数	181	175	177	177	178	167	169	171	171	168	-13

表：学級数の推移（内訳）

学級数	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	2020年-2011年 (増減数)
特別支援	20	21	23	26	27	24	25	26	27	26	6
普通	161	154	154	151	151	143	144	145	144	142	-19



図：児童数・学級数の推移

② 中学校の生徒数及び学級数の推移

市内の中学校 7 校の全生徒数は、平成 23 年度以降減少傾向にあり、令和 2 年度は 1,349 人となっています。平成 23 年度と比較すると 18.7% 減少しています。学校毎でみると、平成 23 年度と比較して駅川中学校を除く全ての学校の生徒数が減少しています。

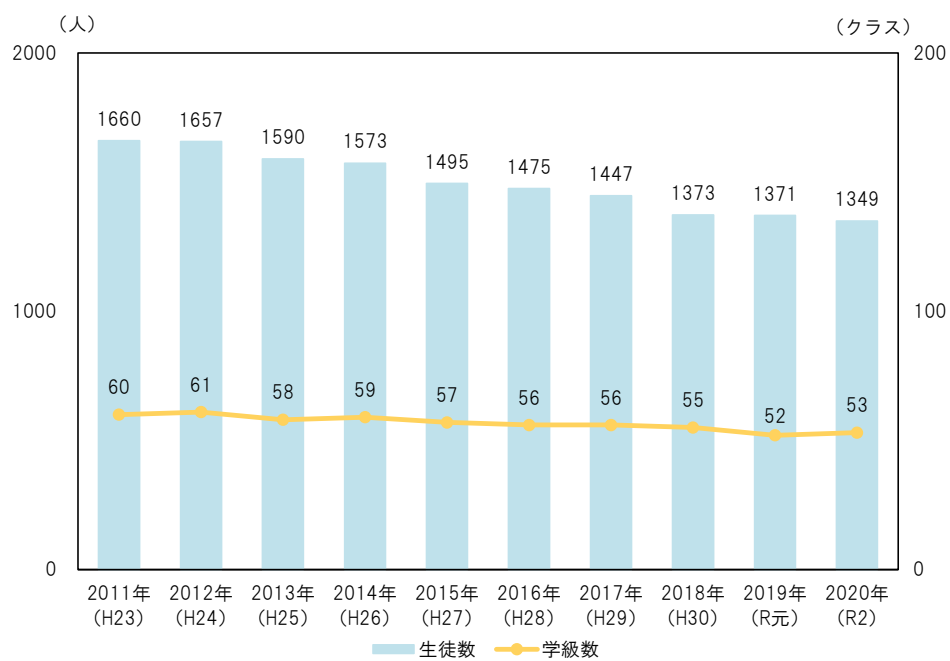
また、学級数は平成 23 年度から増加している学校はありません。学級数の内訳をみると、特別支援学級数は増加しており、普通学級数は減少傾向にあります。

表：生徒数・学級数の推移（特別支援学級を含む）

中学校			2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	単位：人、クラス H23との差異 上段：生徒数の増減率 下段：学級数増減
宇 佐	北部中学校	生徒数	243	236	213	204	181	190	188	186	177	177	72.8%
		学級数	8	9	8	8	7	8	8	8	8	8	0
	西部中学校	生徒数	364	373	377	369	342	312	312	295	318	308	84.6%
		学級数	12	12	13	13	13	11	11	11	11	12	0
	長洲中学校	生徒数	330	327	310	307	298	296	298	267	250	251	76.1%
		学級数	10	10	10	11	11	12	12	11	9	9	-1
	宇佐中学校	生徒数	148	143	133	134	122	120	120	119	119	115	77.7%
		学級数	7	7	6	6	5	5	5	5	4	5	-2
	駅川中学校	生徒数	291	305	309	314	318	332	324	317	322	309	106.2%
		学級数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	0
安 心 院 内	安心院中学校	生徒数	166	165	156	160	151	138	126	108	110	106	63.9%
		学級数	7	7	7	7	7	6	6	5	5	3	-4
	院内中学校	生徒数	118	108	92	85	83	87	79	81	75	83	70.3%
		学級数	6	6	4	4	4	4	4	5	5	6	0
中学校 合計		生徒数	1,660	1,657	1,590	1,573	1,495	1,475	1,447	1,373	1,371	1,349	81.3%
		学級数	60	61	58	59	57	56	56	55	52	53	-7

表：学級数の推移（内訳）

学級数	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	単位：クラス 2020年/ 2011年
特別支援	8	9	8	10	10	11	11	12	10	12	4
普通	52	52	50	49	47	45	45	43	42	41	-11



図：生徒数・学級数の推移

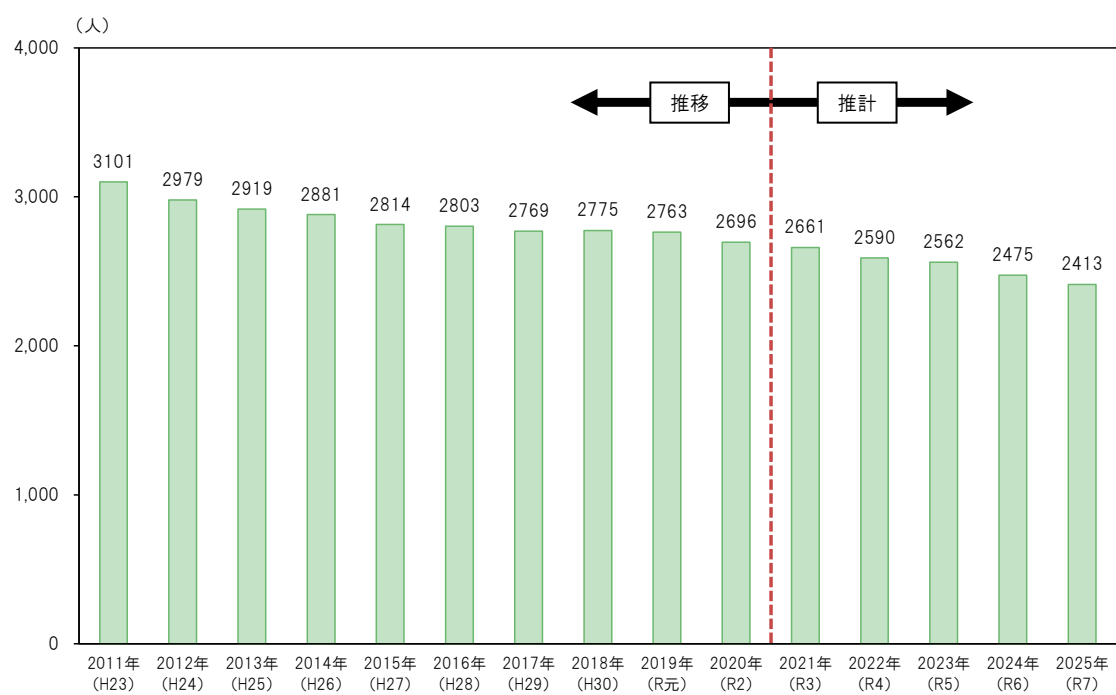
③ 小学校の児童数の推計

令和7年度までの推計をみると、児童数が多い四日市北小学校及び駅館小学校は児童数が増加していますが、全児童数は徐々に減少していくと予測されます。

表：児童数の推計

単位：人

		R3	R4	R5	R6	R7
宇佐	天津小学校	74	73	76	63	66
	長峰小学校	58	44	44	42	40
	横山小学校	19	20	21	18	18
	糸口小学校	78	79	82	73	74
	高家小学校	97	89	83	79	79
	八幡小学校	105	104	107	101	100
	四日市北小学校	315	314	322	326	335
	柳ヶ浦小学校	207	205	209	201	201
	長洲小学校	169	160	143	141	136
	和間小学校	88	81	75	73	68
	封戸小学校	9	10	9	10	9
	北馬城小学校	64	53	53	51	52
	宇佐小学校	98	96	100	86	90
	西馬城小学校	14	15	13	12	8
	駅館小学校	385	398	374	383	386
	豊川小学校	330	321	332	320	295
	四日市南小学校	256	251	261	252	233
安心院	深見小学校	27	28	27	26	21
	安心院小学校	94	90	88	90	84
	津房小学校	29	27	30	25	23
	佐田小学校	26	22	21	18	13
院内	南院内小学校	8	5	5	6	7
	院内中部小学校	46	44	37	32	29
	院内北部小学校	65	61	50	47	46
合計		2,661	2,590	2,562	2,475	2,413



図：児童数の推計

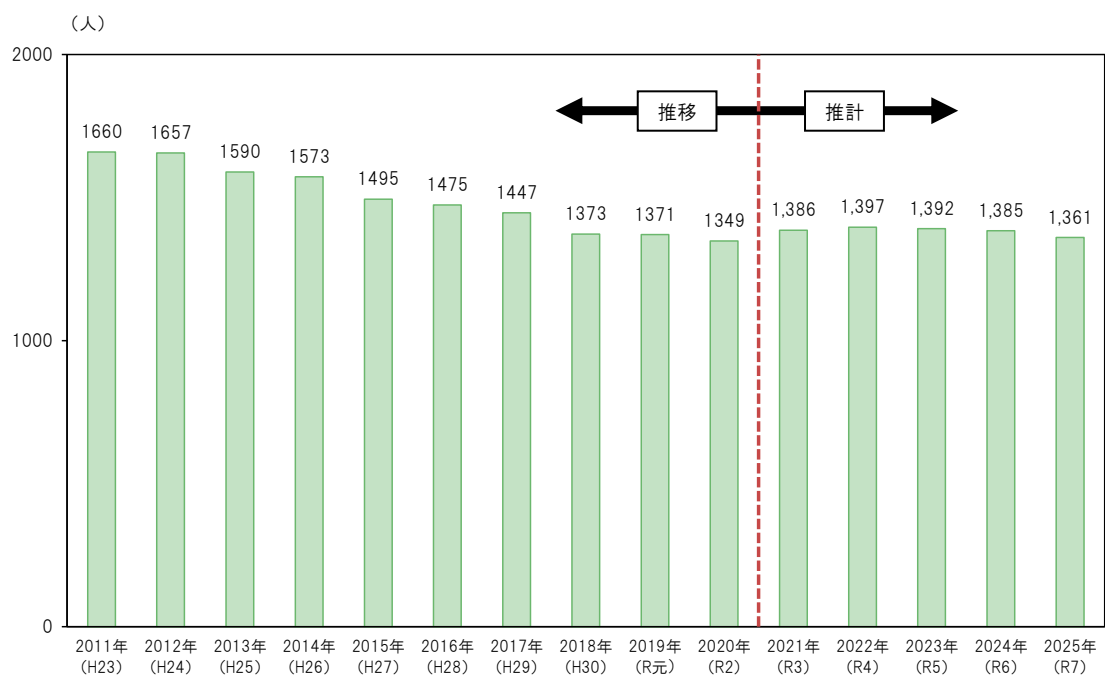
④ 中学校の生徒数の推計

令和7年度までの推計では、生徒数は増減があるものの、徐々に減少していくと予測されます。

表：生徒数の推計

単位：人

		R3	R4	R5	R6	R7
宇佐	北部中学校	166	162	169	189	191
	西部中学校	323	329	328	333	323
	長洲中学校	249	252	244	242	238
	宇佐中学校	103	107	84	93	77
	駅川中学校	342	353	382	364	368
安心院	安心院中学校	116	115	105	95	97
院内	院内中学校	87	79	80	69	67
合計		1,386	1,397	1,392	1,385	1,361



図：生徒数の推計

(4) 職員数の推移

宇佐市の小・中学校の職員数は、小学校では平成２９年度以降減少傾向にあり、中学校では増減を繰り返しています。平成２８年度と比較すると、小学校で２．１％、中学校で４．７％減少しています。

表：小学校の職員数の推移

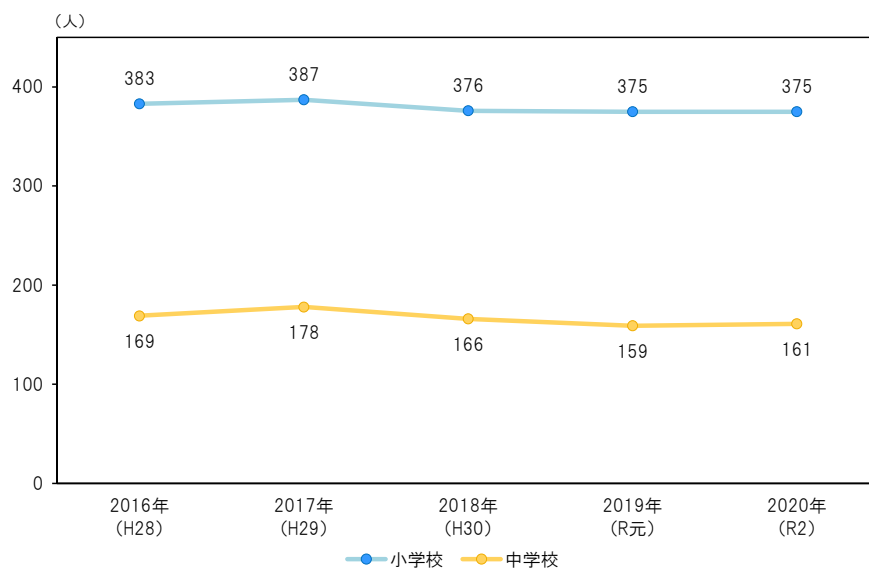
単位：人

		2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	2020年/ 2016年
宇 佐	天津小学校	14	13	13	14	13	92.9%
	長峰小学校	12	12	12	13	13	108.3%
	横山小学校	12	12	11	11	11	91.7%
	糸口小学校	17	18	16	16	16	94.1%
	高家小学校	16	16	15	15	15	93.8%
	八幡小学校	15	15	14	14	14	93.3%
	四日市北小学校	29	33	31	29	29	100.0%
	柳ヶ浦小学校	25	24	20	20	20	80.0%
	長洲小学校	21	22	21	19	18	85.7%
	和間小学校	11	11	13	14	14	127.3%
	封戸小学校	10	11	11	11	10	100.0%
	北馬城小学校	13	13	13	12	12	92.3%
	宇佐小学校	15	15	15	15	16	106.7%
	西馬城小学校	11	11	10	11	11	100.0%
	駅館小学校	27	26	27	28	31	114.8%
	豊川小学校	24	25	26	27	24	100.0%
	四日市南小学校	23	24	22	23	24	104.3%
安 心 院	深見小学校	10	10	11	11	10	100.0%
	安心院小学校	15	15	15	15	16	106.7%
	津房小学校	11	10	10	10	10	90.9%
	佐田小学校	12	11	11	11	11	91.7%
院 内	南院内小学校	11	10	10	9	10	90.9%
	院内中部小学校	13	14	13	13	12	92.3%
	院内北部小学校	16	16	16	14	15	93.8%
合計		383	387	376	375	375	97.9%

表：中学校の職員数の推移

単位：人

		2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R元)	2020年 (R2)	2020年/ 2016年
宇 佐	北部中学校	24	27	25	23	22	91.7%
	西部中学校	29	33	31	30	31	106.9%
	長洲中学校	29	33	30	27	29	100.0%
	宇佐中学校	18	17	18	16	15	83.3%
	駅川中学校	31	29	27	26	30	96.8%
安 心 院	安心院中学校	21	22	19	17	16	76.2%
院 内	院内中学校	17	17	16	20	18	105.9%
合計		169	178	166	159	161	95.3%



図：小・中学校の職員数の推移

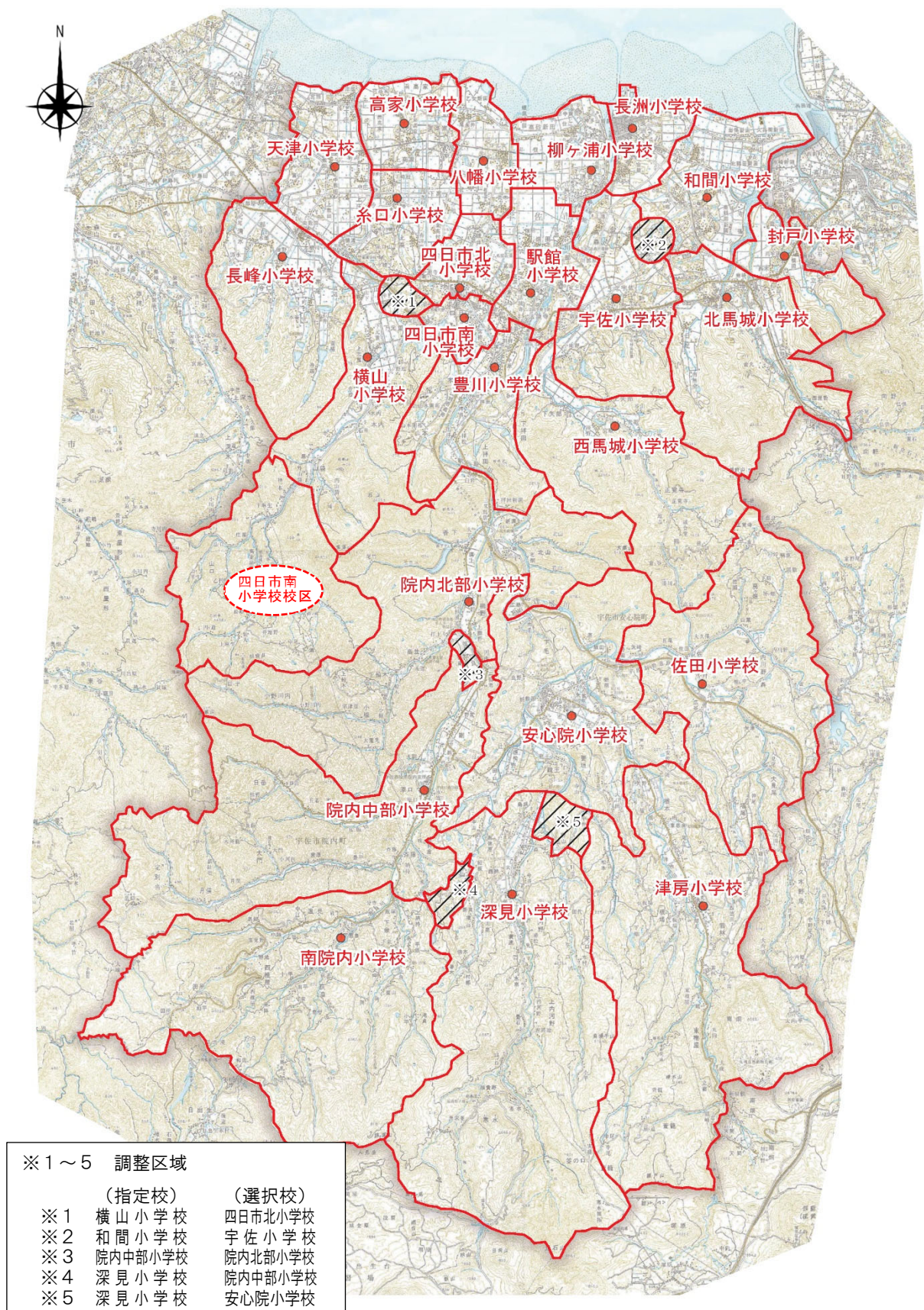
(5) 学校施設の配置状況

宇佐市の学校施設の配置は、宇佐地域が小学校 17 校、中学校 5 校、安心院地域が小学校 4 校、中学校が 1 校、院内地域が小学校 3 校、中学校 1 校があります。全体に対する児童・生徒数も宇佐地域に集中しており、8 割以上を占めています。

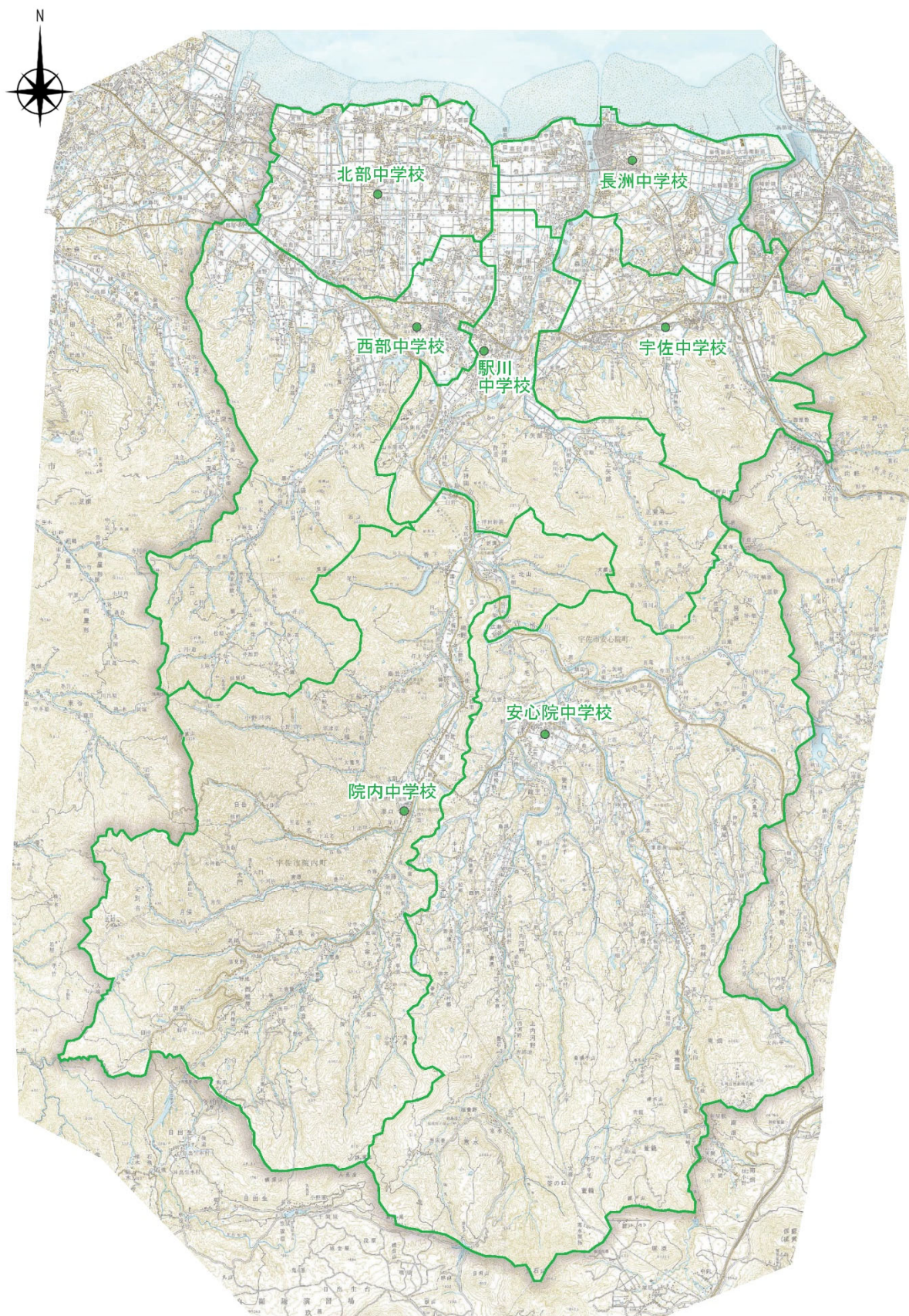
表：地域別の学校施設配置状況及び児童・生徒数（令和 2 年度）

単位：人

地 域	小学校	児童数	中学校	生徒数	地域別計
宇 佐	天津小	79	北部中	177	3534
		2.9%			
	糸口小	73		13.1%	
		2.7%			
	高家小	82		308	
		3.0%			
	八幡小	110	西部中		
		4.1%			
	長峰小	57		22.8%	
		2.1%			
	横山小	20		長洲中	
		0.7%			
	四日市北小	308	251		
		11.4%			
	四日市南小	256	18.6%		
		9.5%			
	柳ヶ浦小	201	宇佐中		
		7.5%			
	長洲小	180		115	
		6.7%			
和間小	87	8.5%			
	3.2%				
封戸小	9	駅川中			
	0.3%				
北馬城小	62		309		
	2.3%				
宇佐小	98		22.9%		
	3.6%				
西馬城小	21	安心院中			
	0.8%				
駅館小	408		106		
	15.1%				
豊川小	323	7.9%			
	12.0%				
安 心 院	深見小	32	安心院中	298	
		1.2%			
	安心院小	107		7.4%	
		4.0%			
	津房小	27			5.3%
佐田小	26	213			
	1.0%				
院 内	南院内小	9	院内中	83	
		0.3%			
	院内中部小	51		6.2%	
		1.9%			
	院内北部	70			5.3%
2.6%					
合 計	合計	2,696	合計	1,349	4,045
		100%		100%	100%



図：小学校区区分図



図：中学校区区分図

(6) 学校の施設関連経費

① 管理費の推移

小・中学校の管理費の5年間の年平均は、小学校で97,186千円、中学校で37,227千円となります。

表：管理費の推移（小学校）

単位：千円

施設名	内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年平均
宇佐	天津小学校	維持修繕費	2,289	284	328	419	321
		光熱水費	1,667	1,527	1,395	1,442	1,260
		委託費	519	723	710	761	838
		小計	4,475	2,535	2,433	2,622	2,420
	長峰小学校	維持修繕費	2,213	1,145	569	5,249	2,600
		光熱水費	1,125	1,068	1,248	1,481	932
		委託費	562	665	815	826	883
		小計	3,900	2,878	2,632	7,556	4,415
	横山小学校	維持修繕費	2,116	2,136	181	3,591	9,533
		光熱水費	923	865	887	972	946
		委託費	476	593	575	648	697
		小計	3,514	3,595	1,643	5,211	11,176
	糸口小学校	維持修繕費	1,893	1,745	437	1,165	1,339
		光熱水費	2,144	2,090	2,015	1,842	1,196
		委託費	577	821	784	860	896
		小計	4,615	4,656	3,236	3,866	3,430
	高家小学校	維持修繕費	978	1,394	79	503	2,356
		光熱水費	1,738	1,716	1,713	1,406	1,331
		委託費	541	776	719	764	733
		小計	3,257	3,886	2,511	2,672	4,419
	八幡小学校	維持修繕費	1,292	182	603	1,140	238
		光熱水費	1,430	1,097	801	921	898
		委託費	1,078	1,282	1,273	1,250	1,221
		小計	3,800	2,561	2,677	3,312	2,357
	四日市北小学校	維持修繕費	1,024	1,998	1,297	12,533	324
		光熱水費	3,233	2,234	2,337	2,553	2,422
		委託費	586	792	730	755	921
		小計	4,843	5,024	4,363	15,841	3,667
	柳ヶ浦小学校	維持修繕費	2,624	1,033	2,482	569	3,080
		光熱水費	1,939	2,021	1,745	1,640	1,804
		委託費	1,052	988	892	943	1,235
		小計	5,614	4,042	5,120	3,153	6,120
	長洲小学校	維持修繕費	1,351	2,406	912	1,340	1,474
		光熱水費	1,761	1,441	1,775	1,548	1,657
		委託費	1,075	1,327	1,476	1,418	1,582
		小計	4,187	5,173	4,163	4,306	4,713
	和間小学校	維持修繕費	384	954	93	804	1,830
		光熱水費	1,190	1,095	1,196	1,318	871
		委託費	1,093	1,223	1,285	1,290	1,474
		小計	2,667	3,272	2,574	3,412	4,175
	封戸小学校	維持修繕費	1,059	137	624	1,193	1,783
		光熱水費	1,079	1,107	1,174	1,457	1,146
		委託費	454	525	612	685	798
		小計	2,592	1,769	2,410	3,336	3,728
	北馬城小学校	維持修繕費	911	1,627	1,025	856	145
		光熱水費	1,603	1,363	1,182	1,125	1,113
		委託費	864	1,168	1,219	1,176	1,332
		小計	3,378	4,158	3,427	3,157	2,591

表：管理費の推移（小学校）

単位：千円

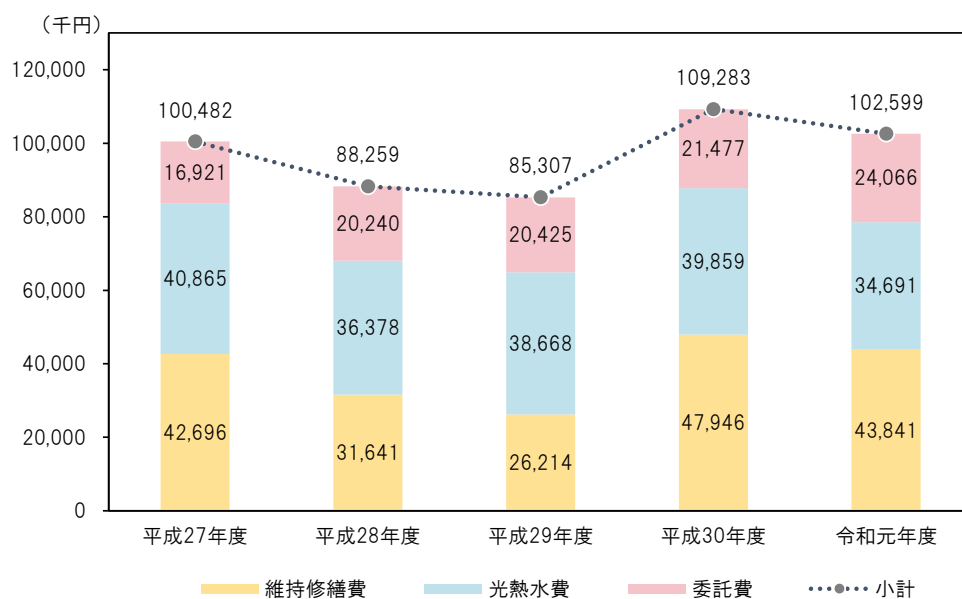
施設名		内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年平均
宇佐	宇佐小学校	維持修繕費	4,261	783	2,517	3,647	3,152	
		光熱水費	1,977	1,261	1,692	1,993	1,627	
		委託費	796	847	820	836	1,069	
		小計	7,033	2,891	5,030	6,476	5,848	
	西馬城小学校	維持修繕費	1,739	164	679	1,484	1,505	
		光熱水費	1,166	1,154	1,106	1,182	1,151	
		委託費	471	438	503	676	671	
		小計	3,375	1,756	2,288	3,342	3,328	
	駅館小学校	維持修繕費	1,661	3,064	1,239	668	702	
		光熱水費	2,586	1,965	3,074	2,721	2,474	
		委託費	413	649	665	772	828	
		小計	4,660	5,678	4,977	4,161	4,003	
	豊川小学校	維持修繕費	2,485	1,776	91	218	3,778	
		光熱水費	1,812	1,388	1,610	1,784	1,629	
		委託費	680	680	693	706	867	
		小計	4,977	3,843	2,394	2,709	6,274	
	四日市南小学校	維持修繕費	2,239	3,683	2,944	2,443	1,831	
		光熱水費	2,000	1,967	2,136	2,166	1,872	
		委託費	761	886	703	866	976	
		小計	5,000	6,536	5,783	5,476	4,679	
安心院	深見小学校	維持修繕費	1,966	911	413	2,270	722	
		光熱水費	1,268	1,497	1,741	1,754	1,336	
		委託費	520	666	719	752	832	
		小計	3,755	3,074	2,874	4,776	2,889	
	安心院小学校	維持修繕費	1,630	1,262	2,288	663	601	
		光熱水費	2,168	1,706	2,035	2,305	2,107	
		委託費	1,027	1,133	1,121	1,125	1,356	
		小計	4,825	4,102	5,444	4,093	4,064	
	津房小学校	維持修繕費	1,387	674	447	372	1,049	
		光熱水費	1,461	1,428	1,380	1,730	1,069	
		委託費	587	845	865	855	925	
		小計	3,436	2,947	2,693	2,957	3,043	
	佐田小学校	維持修繕費	1,510	1,423	1,040	3,043	4,220	
		光熱水費	1,427	1,419	1,396	1,475	1,074	
		委託費	671	829	911	954	1,152	
		小計	3,607	3,671	3,347	5,471	6,445	
院内	南院内小学校	維持修繕費	1,867	1,216	4,740	1,760	373	
		光熱水費	1,439	1,553	1,678	1,658	1,652	
		委託費	647	647	702	904	942	
		小計	3,953	3,415	7,120	4,321	2,967	
	院内中部小学校	維持修繕費	453	162	735	247	547	
		光熱水費	1,581	1,429	1,464	1,606	1,515	
		委託費	599	760	725	747	833	
		小計	2,632	2,350	2,924	2,600	2,895	
	院内北部小学校	維持修繕費	3,367	1,482	450	1,771	338	
		光熱水費	2,149	1,988	1,887	1,780	1,609	
		委託費	872	975	906	907	1,006	
		小計	6,388	4,445	3,243	4,457	2,953	
合計	維持修繕費	42,696	31,641	26,214	47,946	43,841	38,468	
	光熱水費	40,865	36,378	38,668	39,859	34,691	38,092	
	委託費	16,921	20,240	20,425	21,477	24,066	20,626	
	小計	100,482	88,259	85,307	109,283	102,599	97,186	

表：管理費の推移（中学校）

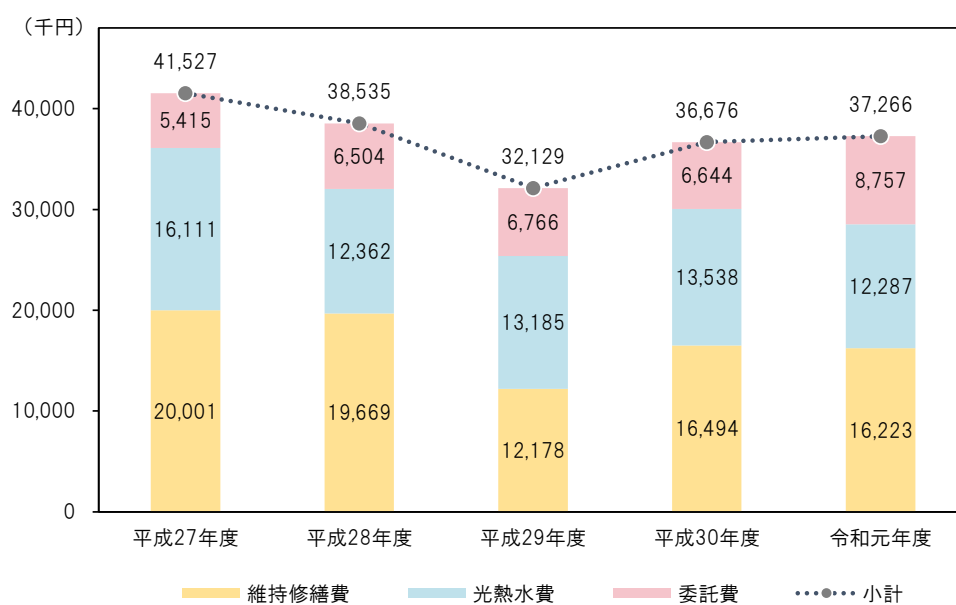
単位：千円

施設名		内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年平均
宇佐	北部中学校	維持修繕費	3,905	1,595	1,199	447	1,007	
		光熱水費	2,133	1,462	1,816	1,852	1,432	
		委託費	736	1,008	1,039	974	1,224	
		小計	6,774	4,064	4,053	3,273	3,662	4,365
	西部中学校	維持修繕費	5,448	3,677	2,848	1,530	3,015	
		光熱水費	3,040	2,572	2,712	2,667	2,666	
		委託費	806	905	1,088	1,028	1,342	
		小計	9,294	7,154	6,648	5,224	7,022	7,069
	長洲中学校	維持修繕費	3,858	5,782	3,356	2,443	4,051	
		光熱水費	2,369	1,460	1,697	1,627	1,653	
		委託費	648	958	818	814	1,189	
		小計	6,875	8,199	5,871	4,884	6,893	6,545
	宇佐中学校	維持修繕費	1,420	1,552	292	2,198	1,363	
		光熱水費	1,997	1,361	1,447	1,554	1,333	
		委託費	841	907	910	995	1,222	
		小計	4,257	3,820	2,648	4,747	3,917	3,878
	駅川中学校	維持修繕費	2,151	3,613	2,485	5,809	3,761	
		光熱水費	2,180	1,559	1,503	1,868	1,546	
		委託費	488	562	660	658	849	
		小計	4,819	5,734	4,648	8,335	6,155	5,938
安心院	安心院中学校	維持修繕費	985	2,509	1,326	2,264	629	
		光熱水費	1,794	1,322	1,504	1,437	1,463	
		委託費	1,024	1,118	1,173	1,170	1,555	
		小計	3,803	4,949	4,002	4,871	3,647	4,255
院内	院内中学校	維持修繕費	2,234	940	674	1,803	2,397	
		光熱水費	2,598	2,627	2,506	2,533	2,196	
		委託費	872	1,046	1,078	1,005	1,376	
		小計	5,705	4,614	4,257	5,341	5,969	5,177
合計		維持修繕費	20,001	19,669	12,178	16,494	16,223	16,913
		光熱水費	16,111	12,362	13,185	13,538	12,287	13,497
		委託費	5,415	6,504	6,766	6,644	8,757	6,817
		小計	41,527	38,535	32,129	36,676	37,266	37,227

管理費の内訳は、小学校では維持修繕費が38,468千円、光熱水費が38,092千円、委託費が20,626千円、中学校では維持修繕費が16,913千円、光熱費が13,497千円、委託費が6,817千円となっています。



図：管理費の推移（小学校）



図：管理費の推移（中学校）

② 改修に係る工事費の推移

小・中学校の改修に係る工事費の年平均は638,484千円となっています。年度別でみると、平成27年度が突出しており、これは小・中学校の大規模改造工事（四日市北小学校校舎及び高家小学校校舎 等）を行ったためです。

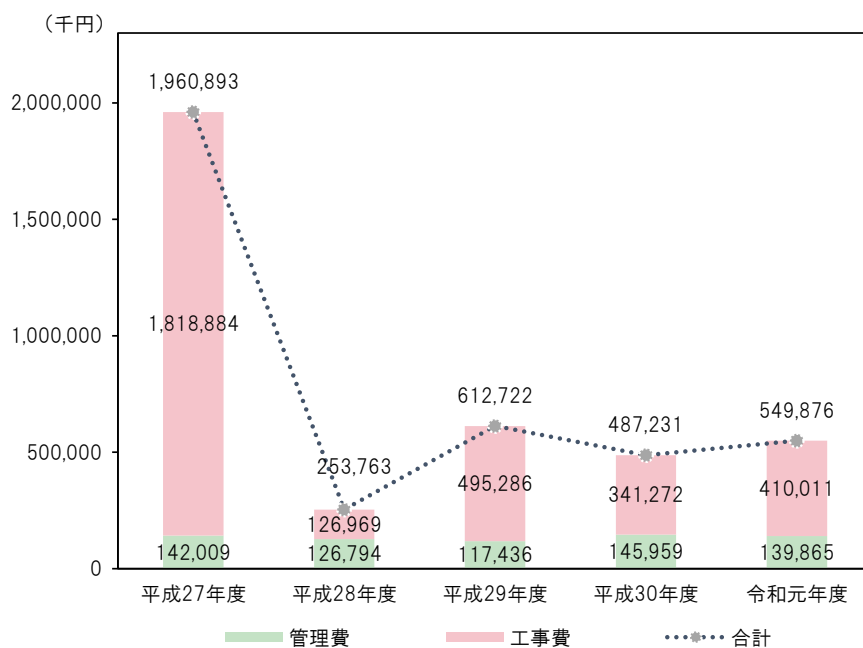
表：学校改修に係る工事費の推移

学校名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年平均
小学校	1,468,763	126,969	465,351	249,407	85,395	
中学校	350,121	0	29,935	91,866	324,615	
計	1,818,884	126,969	495,286	341,272	410,011	638,484

単位：千円

③ 施設関連経費の推移（①管理費＋②工事費）

小・中学校の改修に係る施設関連経費を年度別でみると、平成27年度が1,960,893千円で最も高くなっています。



図：施設関連経費の推移（小中学校）

(7) 学校施設の実態を踏まえた課題

宇佐市には、小学校が24校、中学校が7校ありますが、人口減少や少子高齢化の影響により、15歳未満の人口が年々減少してきており、児童・生徒数も減少しています。

これまでに述べたように、宇佐市の学校施設は、築30年以上の建物が全体の約5割を占めています。建物の構造の多くは、鉄筋コンクリート造（RC造）で建てられ、耐震診断結果に基づいて耐震補強・大規模改修工事等を実施してきました。しかしながら、建築から長い年数が経過して建物の老朽化が進んでいるとともに設備の不具合もあり、近い将来に建替を含めた対策が必要となっています。

また、少子化の進展により児童・生徒数の減少や学校の小規模校化が進んできており、今後も更なる人口減少や少子化が予測されていることを踏まえると、学校規模の適正化について検討が必要になってきます。

さらに、教育内容や教育方法等の多様化、防災機能整備、バリアフリー化、環境への配慮など学校施設に求められる時代のニーズに対応するための対策が課題となっています。

① 厳しい財政状況を勘案した学校施設の長期保全への取り組み

平成30年度の一般会計の決算における自主財源の割合は、歳入総額の33.8%となっており、将来的な人口減少に伴い、市税（地方税）も減少することが予測されます。一方、歳出においては、扶助費が増加する傾向を踏まえると、財政状況がますます厳しくなっていくことになります。

宇佐市の公共施設は、451施設、総延床面積約38万㎡を保有している中で、学校施設の延床面積は全体の約3分の1を占めています。学校施設は、近い将来集中して改築や大規模改修を行う必要があり、市の財政の大きな負担となることが考えられます。

このため、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、長期的な予算配分を確立していくことが必要です。

② 学校施設の維持・改修など総合的な対応

学校施設の約5割が築30年以上と老朽化が進んでいる中で、建設当時に比べ大きく変化している多様な学習内容に応じた高機能かつ多機能な施設環境の必要性が高まっています。また、防災対策、バリアフリー対策、トイレの洋式化等の学習・生活空間としての安全性や快適性の向上を図るほか、環境負荷の低減対策等の様々な配慮が必要となっています。

施設の改修にあたっては、建築時の状態に戻すのではなく、その機能や性能を現在

の学校が求められている水準まで引き上げる必要があります。その際には、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティの拠点形成を目指し再生を行うことが重要です。

③ 小中学校の規模・配置の適正化の検討

宇佐市が定める適正規模の学校は20校あり、その他の11校が小規模校となっています。このため、将来を見据えた小・中学校の規模や配置の適正化が課題となっていますが、その検討にあたっては児童・生徒にとって望ましい教育環境はどうあるべきかという観点に立ち、保護者や地域住民等の理解や協力を得ながら進めていくことが必要です。

④ 35人学級編制への対応

現在の義務標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）では、1学級の上限は小学1年生のみ35人、小学2年生～小学6年生は40人とされているが、令和3年度から5年かけて1学級あたり35人に引き下げる35人学級編制（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案）が計画されているため、小学校の少人数教室等の転用を基本に検討します。

補足：大分県の基準では、1学級の上限は小学校1,2年生において30人となっています。

3. 学校施設の老朽化状況

(1) 学校施設の老朽化状況の把握

① 老朽化状況の評価

施設の健全性・劣化状況を把握し評価するために、学校施設台帳、耐震診断結果を踏まえ、さらに屋上・外壁等の実態を把握するため、学校施設31施設の主要建物98棟を対象にした目視による現地調査を行いました。

以下に示す劣化状況調査票を基に、各項目について劣化状況の確認と劣化具合の写真を撮影し、「屋根・屋上」、「外壁」に区分して評価を行いました。また、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」も経過年数により評価を行い、それらを基に総合的に施設の健全度として点数化を行いました。

【劣化状況調査票】

通し番号			学校名	学校番号	調査日		
建物名			棟番号	建築年度	記入者		
構造種別	延床面積	m	階数	地上	階	地下	階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			
3 内部	内部劣化箇所②	特記事項		内部劣化箇所③			
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)				評価
4 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事						
5 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事						
6 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事						
7 設備情報	トイレのドライ化 太陽光発電 エレベーター 点字ブロック スロープ 木質化 屋上緑化 多目的トイレ 手すり						

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
 0 / 100点

【評価指標】

目視による評価 (屋根・屋上、外壁)		経過年数による評価 (内部仕上、電気設備、機械設備)	
評価	基準	評価	基準
良好 ↑ 劣化	A おおむね良好	良好 ↑ 劣化	A 20年未満
	B 部分的に劣化 (安全上・機能上：問題なし)		B 20～40年
	C 広範囲に劣化 (安全上・機能上：不具合発生の兆し)		C 40年以上
	D 早急に対応する必要がある		D 経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある

図：評価指標

【健全度の算定】

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。部位のコスト配分を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。

表：部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

表：部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

◇計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60（コスト配分合計）

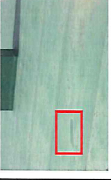
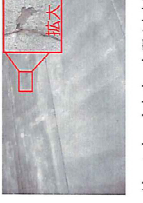
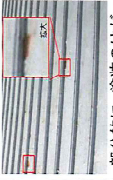
表：計算例

部位	評価		評価点例		コスト配分		配分評価点
屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
内部仕上	B	→	75	×	22.4	=	1,680
電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷ 60
健全度							52

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：屋根・屋上】

評価		仕様		A		B		C		D	
目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。	良好	劣化	屋根・屋上	7ス7アルト 保護防水							
				良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。		広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。		広範囲に、損傷、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	
				7ス7アルト 露出防水							
				良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		部分的に、ふくれ、変質(摩耗)、排水不良がある。		広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。		広範囲に、破断、損傷、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	
				シート 防水							
				良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。		広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。		広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	
				塗膜防水							
				良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		部分的にふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。		広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。		広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	
				金属板 (長尺、折板、平葺き)							
				良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のはがれ、さび、金物のさびがある。		広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のはがれ、さび、部分的な腐食・損傷があり、最上階天井に漏水痕がある。		広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損傷があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	

《解説》

《点検項目》

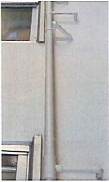
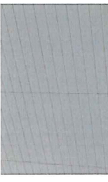
- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・腐食・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 上記のような劣化現象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や非水溜は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等がないか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 1箇所の劣化現象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
- ✓ 現状として、降雨時に複数箇所が雨漏りしている場合はD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済み、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：外壁】

評価		良好		劣化	
仕様	A	B	C	D	
塗 仕 上 げ	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび・汁がある。	 広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・割れ・さび・汁があり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	
タイル張り 石張り	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび・汁・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび・汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	
金属系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、さび・変質・腐食・交差・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	
セメント系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・交差・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。	
窓 (サッシ)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	 全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。	 全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。	

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

- 《点検項目》
- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
 - ✓ 外壁の室内側において、雨漏りとと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。
 - ✓ また、降雨時や翌日に床面に水溜りができていないか。
 - ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
 - ✓ 建具枠、壁番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
 - ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
 - ✓ 上記のような劣化現象の箇所数を記入。
- 《点検の留意点》
- ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。
 - ✓ 大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
 - ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
 - ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
 - ✓ 現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。
 - ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備】

部位の全般的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

該当する部位		CまたはDの事象(例)		
内部 仕上	● 床、壁、天井 ● 内部開口部(扉、窓、防火戸) ● 室内表示、手すり、固定家具など ● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具	 床仕上げの剥がれ	 床のひび割れ	 天井材の落下・剥がれ
	電気設備	● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備) 受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、 学校施設の共用設備のため対象外とする。	● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 (評価例) ・視聴覚室やコンピューター室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価	● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・部分的な修繕等 (評価例) ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価
	機械設備	● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管 受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、 屋外配管は、共用設備のため対象外とする。	● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管	● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・部分的な修繕等 (評価例) ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価

《解説》

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、右頁にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価すること。

対象となる部位、及びC/D評価に該当する事象例を右表に示す。

《点検項目》

内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などがないか。

✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。

✓ 設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食などがないか。

✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。

✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。

✓ 機器から異音はしていないか。

✓ 保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。

《点検の留意点》

✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。

✓ 受変電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。

✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。

✓ 目視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

注冊：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

②老朽化状況の実態

現地の目視調査を踏まえた劣化状況による建物の健全度について、評価結果を以下に示します。

表：劣化状況一覧表（小学校①）

建物基本情報										構造躯体の健全性										劣化状況評価					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	備 考
					学校 種別	建物 用途				西暦	和暦		基準 診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm ²)	試験上 の区分								
1	195	天津小学校	管理教室棟	013	小学校	校舎	RC	2	791	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
2	195	天津小学校	教室棟	014	小学校	校舎	RC	3	1,372	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
3	195	天津小学校	屋内運動場	016	小学校	体育館	RC	2	840	2014	H26	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
4	196	長峰小学校	屋内運動場	009	小学校	体育館	RC	1	544	1980	S55	40	旧	済	-	H16 14.3	長寿命	C	C	C	C	-	40		
5	196	長峰小学校	管理教室棟	012	小学校	校舎	RC	2	1,837	1991	H3	29	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
6	197	横山小学校	管理教室棟	001-1	小学校	校舎	RC	3	551	1964	S39	56	旧	済	H21 11.3	要調査	A	A	C	C	D	59	H24年度 耐震・屋上・外壁改修		
7	197	横山小学校	管理教室棟	001-2	小学校	校舎	RC	3	543	1965	S40	55	旧	済	H21 9.1	要調査	A	B	C	C	D	52	H24年度 耐震・屋上・外壁改修		
8	197	横山小学校	屋内運動場	007	小学校	体育館	RC	2	638	1981	S56	39	新	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	-	57		
9	199	糸口小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	1	544	1979	S54	41	旧	済	-	H16 21	長寿命	C	C	C	C	-	40		
10	199	糸口小学校	管理教室棟	012	小学校	校舎	RC	3	1,845	1989	H元	31	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
11	200	高家小学校	屋内運動場	011	小学校	体育館	RC	2	680	1982	S57	38	新	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	-	60		
12	200	高家小学校	普通・特別教室棟	012	小学校	校舎	RC	2	1,198	1992	H4	28	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
13	200	高家小学校	管理教室棟	015	小学校	校舎	RC	2	1,279	2015	H27	5	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
14	201	八幡小学校	屋内運動場	006	小学校	体育館	S	1	480	1974	S49	46	旧	済	H21 20.7	長寿命	A	B	C	C	-	57	H24年度 耐震・屋上・外壁改修		
15	201	八幡小学校	管理教室棟	011	小学校	校舎	RC	3	2,411	2014	H26	6	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
16	202	四日市北小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	2	1,106	1978	S53	42	旧	済	-	H16 18	長寿命	B	C	C	C	-	43	H23年度 屋根(防水)改修	
17	202	四日市北小学校	教室棟	013	小学校	校舎	RC	3	2,339	1993	H5	27	新	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62		
18	202	四日市北小学校	管理・特別教室棟	016	小学校	校舎	RC	2	1,989	2015	H27	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
19	203	柳ヶ浦小学校	管理棟	008	小学校	校舎	RC	3	1,540	1985	S60	35	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
20	203	柳ヶ浦小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	2	922	1993	H5	27	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
21	203	柳ヶ浦小学校	教室棟	012	小学校	校舎	RC	3	2,364	2010	H22	10	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
22	204	長洲小学校	教室棟	012	小学校	校舎	RC	3	3,057	1990	H2	30	新	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65		
23	204	長洲小学校	管理棟	015	小学校	校舎	RC	1	564	2013	H25	7	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
24	204	長洲小学校	屋内運動場	016	小学校	体育館	RC	2	856	2015	H27	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
25	205	和間小学校	管理教室棟	012	小学校	校舎	RC	3	2,392	2013	H25	7	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
26	205	和間小学校	屋内運動場	013	小学校	体育館	RC	2	827	2015	H27	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
27	206	封戸小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	2	795	1986	S61	34	新	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62		
28	206	封戸小学校	管理教室棟	011	小学校	校舎	RC	3	1,799	1987	S62	33	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72		
29	207	北馬城小学校	管理教室棟	011	小学校	校舎	RC	3	2,377	2012	H24	8	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93		
30	207	北馬城小学校	屋内運動場	012	小学校	体育館	RC	2	826	2015	H27	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
31	208	宇佐小学校	管理教室棟	010	小学校	校舎	RC	3	1,250	1973	S48	47	旧	済	H20 22.7	長寿命	A	C	D	C	D	30	H21年度 耐震・屋上・外壁改修		
32	208	宇佐小学校	普通教室棟	011	小学校	校舎	RC	2	675	1973	S48	47	旧	済	H20 19.1	長寿命	B	B	C	C	D	49	H21年度 耐震・外壁改修		
33	208	宇佐小学校	屋内運動場	014	小学校	体育館	RC	1	561	1977	S52	43	旧	済	H21 17.5	長寿命	B	B	C	C	-	55	H25年度 耐震・屋根・外壁改修		

表：劣化状況一覧表（小学校②）

建物基本情報													構造躯体の健全性										劣化状況評価					備考
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数	耐震安全性				長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点満 点)			
					学校 種別	建物 用途				西 暦	和 暦		基準 調査 年度	補強 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試験上 の区分												
34	209	西馬城小学校	管理教室棟	001-1	小学校	校舎	RC	2	1,102	1971	S46	49	旧	済	済	H20	22.9	最寿命	C	B	C	C	D	46	H25年度 耐震・屋根・外壁改修			
35	209	西馬城小学校	屋内運動場	005	小学校	体育館	RC	2	796	1987	S62	33	新	-	-	-	-	最寿命	C	C	B	B	B	62				
36	210	駅館小学校	屋内運動場	007	小学校	体育館	S	1	480	1972	S47	48	旧	済	済	H21	15	最寿命	A	A	A	B	A	-	100	H24年度 耐震・大規模改修		
37	210	駅館小学校	特別教室棟	008-1	小学校	校舎	RC	2	765	1975	S50	45	旧	済	済	H21	23.9	最寿命	B	A	C	C	D	57	H26年度 耐震・屋上・外壁改修			
38	210	駅館小学校	特別教室棟	008-2	小学校	校舎	RC	2	171	1980	S55	40	旧	済	-	H20	23.4	最寿命	B	A	C	C	-	63	H26年度 屋上・外壁改修			
39	210	駅館小学校	管理教室棟	011	小学校	校舎	RC	3	2,479	1998	H10	22	新	-	-	-	-	最寿命	A	B	B	B	B	77				
40	210	駅館小学校	教室棟	016	小学校	校舎	RC	3	248	2011	H23	9	新	-	-	-	-	最寿命	A	A	A	A	-	100				
41	211	豊川小学校	管理教室・特別教室棟	009	小学校	校舎	RC	3	2,060	1983	S58	37	新	-	-	-	-	最寿命	C	C	C	B	B	49				
42	211	豊川小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	1	797	1985	S60	35	新	-	-	-	-	最寿命	C	C	B	B	B	62				
43	211	豊川小学校	教室棟	014	小学校	校舎	S	1	279	2009	H21	11	新	-	-	-	-	最寿命	A	B	A	A	-	92				
44	211	豊川小学校	仮設校舎	017	小学校	校舎	RC	1	222	2019	R元	1	新	-	-	-	-	最寿命	A	A	A	A	A	100				
45	540	四日市南小学校	屋内運動場	001	小学校	体育館	RC	1	725	1984	S59	36	新	-	-	-	-	最寿命	C	C	B	B	B	62				
46	540	四日市南小学校	管理棟	002	小学校	校舎	RC	2	932	1985	S60	35	新	-	-	-	-	最寿命	B	C	B	B	B	65				
47	540	四日市南小学校	教室棟	003	小学校	校舎	RC	3	2,606	1985	S60	35	新	-	-	-	-	最寿命	C	C	C	B	B	49				
48	514	深見小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	S	1	533	1977	S52	43	旧	済	-	H15	23	最寿命	D	C	C	C	D	34				
49	514	深見小学校	管理教室棟	011	小学校	校舎	S	2	2,140	1988	S63	32	新	-	-	-	-	最寿命	B	C	B	B	B	65				
50	516	安心院小学校	管理教室棟	008-1	小学校	校舎	RC	3	2,708	1997	H9	23	新	-	-	-	-	最寿命	A	B	B	B	B	77				
51	516	安心院小学校	管理教室棟	008-2	小学校	校舎	RC	3	83	1997	H9	23	新	-	-	-	-	最寿命	A	B	B	B	-	77				
52	516	安心院小学校	給食室・学校倉庫	009	小学校	校舎	S	1	265	1997	H9	23	新	-	-	-	-	最寿命	C	B	B	B	B	72				
53	516	安心院小学校	屋内運動場	011	小学校	体育館	S	1	898	1998	H10	22	新	-	-	-	-	最寿命	B	B	B	B	B	75				
54	517	津房小学校	屋内運動場	013	小学校	体育館	S	1	630	1978	S53	42	旧	済	-	H15	23	最寿命	C	C	C	C	D	36	H19年度 屋根・外壁・内部改修			
55	517	津房小学校	管理教室棟	014-1	小学校	校舎	RC	2	1,650	1986	S61	34	新	-	-	-	-	最寿命	C	D	A	B	B	63				
56	517	津房小学校	コンピュータ室	014-2	小学校	校舎	S	1	70	1993	H5	27	新	-	-	-	-	最寿命	A	A	B	B	-	86				
57	517	津房小学校	普通教室棟	017	小学校	校舎	RC	1	330	2006	H18	14	新	-	-	-	-	最寿命	A	A	B	A	A	93				
58	519	佐田小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	S	1	533	1979	S54	41	旧	済	-	H15	28	最寿命	D	C	C	C	D	34				
59	519	佐田小学校	管理・教室棟	011	小学校	校舎	RC	2	2,118	1987	S62	33	新	-	-	-	-	最寿命	C	B	B	B	B	72				
60	510	院内小学校	管理・特別教室棟	001	小学校	校舎	RC	3	1,655	1973	S48	47	旧	済	済	H21	18	最寿命	A	B	C	C	D	52	H19年度 耐震・屋根・外壁改修			
61	510	院内小学校	屋内運動場	003	小学校	体育館	S	1	504	1974	S49	46	旧	済	済	H21	26.7	最寿命	A	B	C	C	D	52	H24年度 耐震・屋根・外壁改修			
62	536	院内中部小学校	管理棟及び教室棟	001	小学校	校舎	RC	3	1,955	1979	S54	41	旧	済	済	H21	25.2	最寿命	A	B	C	C	D	52	H25年度 耐震・屋上・外壁改修			
63	536	院内中部小学校	屋内運動場	003	小学校	体育館	RC	1	629	1979	S54	41	旧	済	済	H21	20.9	最寿命	A	B	C	C	D	52	H25年度 耐震・屋根・外壁改修			
64	542	院内北部小学校	管理棟及び校舎棟	001	小学校	校舎	RC	3	2,099	1986	S61	34	新	-	-	-	-	最寿命	B	C	B	B	B	65				
65	542	院内北部小学校	屋内運動場	003	小学校	体育館	S	1	797	1986	S61	34	新	-	-	-	-	最寿命	B	B	B	B	B	75				
66	542	院内北部小学校	学校支援センター	004	小学校	校舎	S	1	120	1986	S61	34	新	-	-	-	-	最寿命	C	B	B	-	-	72				

表：劣化状況一覧表（中学校）

建物基本情報										構造躯体の健全性							劣化状況評価					備考			
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備		機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
					学校 種別	建物 用途				西暦	和暦		基準 診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試験上 の区分								
67	3597	北部中学校	特別教室棟	011-1	中学校	校舎	RC	3	872	2005	H17	15	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	A	93	
68	3597	北部中学校	管理教室棟	011-2	中学校	校舎	RC	3	3,447	2005	H17	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	A	91	
69	3597	北部中学校	体育館室	012	中学校	その他	RC	1	199	2005	H17	15	新	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	A	98	
70	3597	北部中学校	屋内運動場	013	中学校	体育館	RC	2	1,092	2015	H27	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	A	100	
71	3598	西部中学校	普通教室棟	001	中学校	校舎	RC	3	2,909	1972	S47	48	旧	済	済	H7	26.7	長寿命	C	B	C	C	D	46	H15年度 屋上・外壁 改修
72	3598	西部中学校	管理棟	002	中学校	校舎	RC	3	2,227	1972	S47	48	旧	済	済	H8	26.7	長寿命	C	B	D	C	D	35	H14年度 耐震補強
73	3598	西部中学校	渡り廊下	003	中学校	校舎	RC	2	260	1972	S47	48	旧	済	-	H21	26.7	長寿命	C	B	C	C	-	51	
74	3598	西部中学校	柔剣道場	006	中学校	武道場	S	1	400	1973	S48	47	旧	済	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	A	100	
75	3598	西部中学校	屋内運動場	007	中学校	体育館	S	2	955	1976	S51	44	旧	済	済	H21	26.6	長寿命	A	B	C	C	-	57	H15年度 耐震・屋根・外壁 改修
76	3598	西部中学校	教室棟	016	中学校	校舎	RC	2	346	1995	H7	25	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	B	75	
77	3598	西部中学校	トレーニングセンター	017	中学校	体育館	RC	1	400	1998	H10	22	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	B	77	
78	3601	長洲中学校	部室棟	012	中学校	その他	RC	1	350	1996	H8	24	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	B	72	
79	3601	長洲中学校	管理教室棟	013	中学校	校舎	RC	3	3,165	1997	H9	23	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	B	72	
80	3601	長洲中学校	特別教室棟	014	中学校	校舎	RC	3	1,982	1997	H9	23	新	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	B	72	
81	3601	長洲中学校	屋内運動場	016	中学校	校舎	RC	1	1,138	2002	H14	18	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	-	A	92	
82	3601	長洲中学校	地域・学校連携施設	017	中学校	校舎	RC	1	194	2002	H14	18	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	A	93	
83	3602	宇佐中学校	部室棟	011	中学校	その他	RC	1	216	1994	H6	26	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	B	77	
84	3602	宇佐中学校	教室棟	013	中学校	校舎	RC	3	2,653	1995	H7	25	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	B	75	
85	3602	宇佐中学校	管理棟	014	中学校	校舎	RC	1	495	1995	H7	25	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	B	75	
86	3602	宇佐中学校	屋内運動場	015	中学校	体育館	RC	2	1,000	2008	H20	12	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	A	93	
87	3603	駅川中学校	屋内運動場	014	中学校	体育館	RC	1	755	1979	S54	41	旧	済	-	H21	25.4	長寿命	B	C	C	C	-	43	H22年度 屋根(防水) 改修
88	3603	駅川中学校	管理棟	015	中学校	校舎	RC	1	499	1983	S58	37	新	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	B	62	H22年度 屋上(防水) 改修
89	3603	駅川中学校	特別教室棟	016	中学校	校舎	RC	2	864	1983	S58	37	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	B	62	
90	3603	駅川中学校	普通教室棟	017	中学校	校舎	RC	3	1,737	1983	S58	37	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	B	B	49	
91	3603	駅川中学校	普通教室棟	022	中学校	校舎	RC	2	605	2011	H23	9	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	A	93	
92	3757	安心院中学校	屋内運動場	008	中学校	体育館	S	1	1,000	1976	S51	44	旧	済	-	H15	23	長寿命	D	C	C	C	D	34	
93	3757	安心院中学校	管理教室棟	010	中学校	校舎	RC	3	3,715	2002	H14	18	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	A	91	
94	3757	安心院中学校	部室	011	中学校	その他	S	1	183	2003	H15	17	新	-	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	A	83	
95	3752	院内中学校	屋内運動場	003	中学校	体育館	S	2	1,027	1970	S45	50	旧	済	済	H21	15.7	長寿命	A	B	C	C	D	52	H14年度 耐震・屋根・外壁 改修
96	3752	院内中学校	管理教室・特別教室棟	007	中学校	校舎	RC	2	3,850	2004	H16	16	新	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	A	91	
97	3752	院内中学校	倉庫	008-1	中学校	その他	RC	1	38	2004	H16	16	新	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	-	92	
98	3752	院内中学校	部室	008-2	中学校	その他	RC	1	75	2004	H16	16	新	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	A	98	

A

B

C

D

概ね良好

部分的に劣化

広範囲に劣化

早急に対応する必要がある

A：概ね良好

B：部分的に劣化

C：広範囲に劣化

D：早急に対応する必要がある

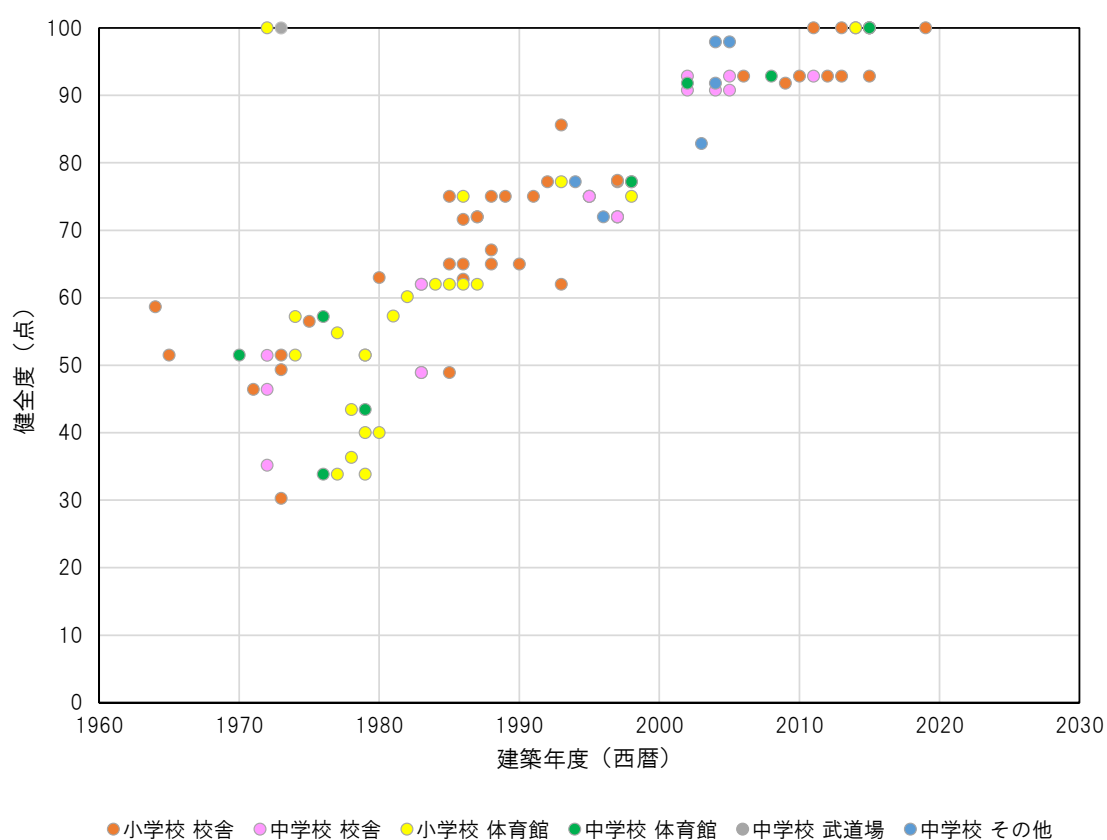
：築50年以上

：築40年以上

小学校の対象建物全66棟の健全度の平均値は69.4点、健全度60点未満の建物は21棟です。中学校では、全32棟の平均値は74.8点、健全度60点未満の建物は8棟です。

耐震改修工事及び大規模改修工事を近年に行っている建物もあり、屋根・屋上や外壁は比較的良好な状態ですが、経過年数以上に内部の劣化が進行している建物も見られます。

建築年度と健全度の関係をみると、全体的に建築年度が古いほど健全度が低く、新しくなるにつれて健全度が高いことが伺えます。



図：建築年と健全度の相関

(2) 学校施設の老朽化所見

現地調査の結果、学校施設の建物は以下のような老朽化状況がみられます。

① 小学校 校舎

建築後40年を経過した校舎の多くは改修等工事を実施しており、屋根・屋上、外壁は比較的良好な状態を保っていますが、内部等の劣化が進行しています。

建築後20年から40年未満の校舎については、比較的良好な状態を保っていますが、一部の建物で屋根・屋上、外壁共に劣化が進行しています。

② 中学校 校舎

建築後40年を経過した校舎は部分的に改修等工事を実施していますが、屋上・屋根、内部等の劣化が進行しています。また、改修等の工事を実施していない建物については、屋上・屋根、外壁共に劣化が進行しています。

建築後20年から40年未満の校舎については、部分的に劣化が見られるものの、比較的良好な状態を保っています。

③ 小学校 体育館

体育館は地域の避難所としての機能があり、旧耐震基準の建物は全て耐震補強を行っています。建築後40年を経過した体育館の過半数は改修等工事を実施しており、屋根、外壁は比較的良好な状態を保っていますが、内部等の劣化が進行しています。また、改修等の工事を実施していない建物については、全体的に劣化が進行しているため、改修等工事を講じる必要があります。

建築後20年から40年未満の体育館については、一部の建物で屋根、外壁の劣化が徐々に進行しています。

④ 中学校 体育館

小学校の体育館と同様に地域の避難所となっており、旧耐震基準の建物は全て耐震補強を行っています。建築後40年を経過した体育館の大半が改修等工事を実施しているため、屋根、外壁は比較的良好な状態を保っていますが、内部等の劣化が進行しています。また、改修等の工事を実施していない建物については、全体的に劣化が進行しているため、改修等工事を講じる必要があります。

⑤ 中学校 その他（武道場、部室等）

武道場や部室、倉庫などが対象となりますが、部分的に劣化が見られるものの比較的良好な状態を保っています。